



－ v6.0.0 変更点について －

NTTアドバンステクノロジー株式会社

# はじめに

## ■ v6.0.0で変更になったことについて解説いたします。

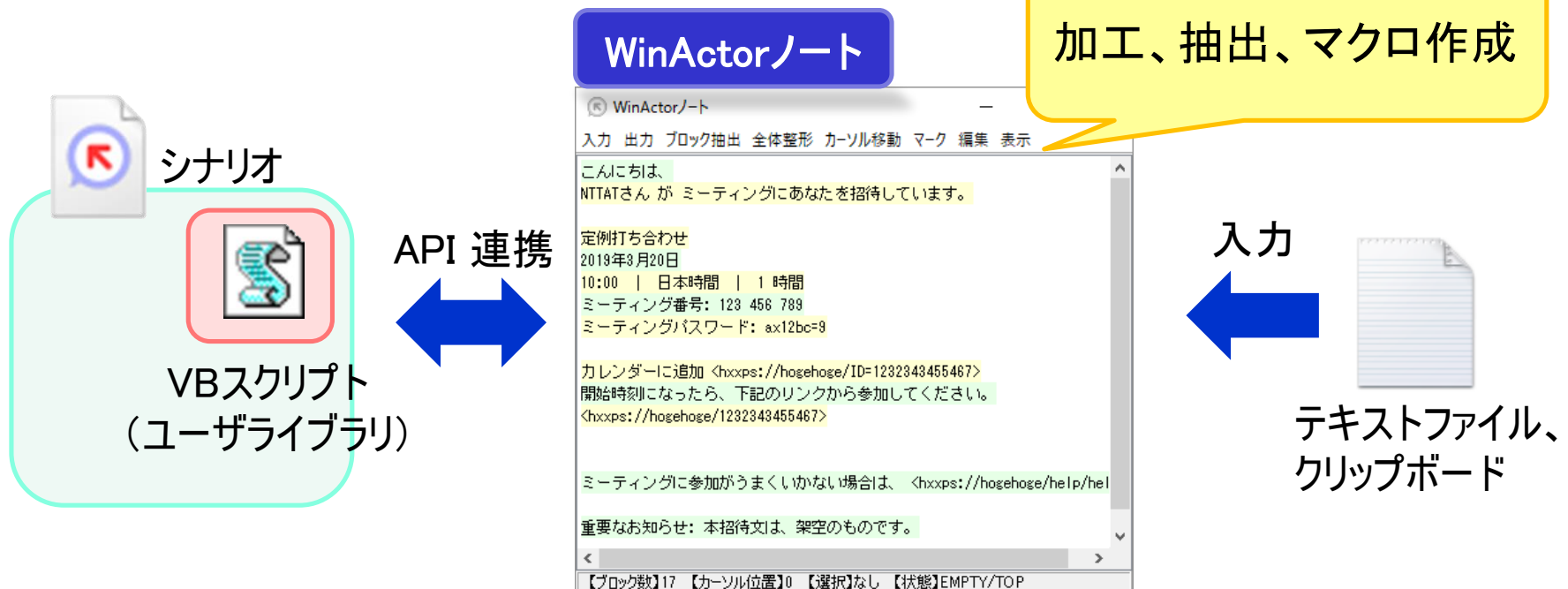
- ・新機能追加/改善・・・シナリオ作成やシナリオ保守に関する操作性・機能を追加/改善しています。
- ・動作環境・・・Microsoft Office 2019 に対応しました。
- ・Java実行環境の変更・・・Javaの実行環境をOpenJDK(AmazonCorretto8)に変更しました。
- ・不具合対応・・・不具合の修正を行っています。
- ・ユーザライブラリ・・・ユーザライブラリの追加・変更を行っています。
- ・その他

# 新機能追加: テキスト処理ツール「WinActorノート」(1/3)

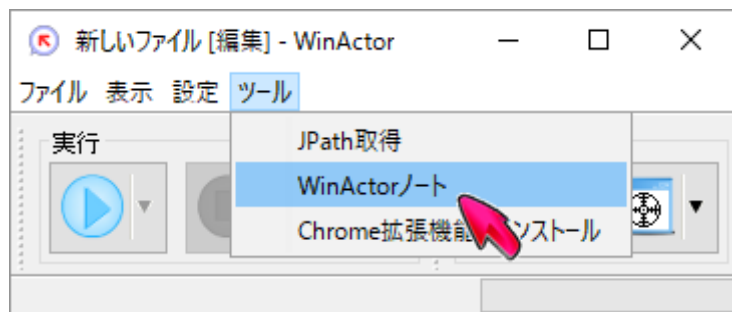
高度なテキスト処理を行うための専用ツール「WinActorノート」を開発しました。WinActorのシナリオから本ツールへアクセスし、テキストの加工・抽出・利用することが可能となります。

(使用例)

- ・商品注文メールの本文から「購入者」「商品名」「数量」などを抽出し、システムに投入する。
- ・Web検索結果の一覧ページから決まったサイトの「URL」のみを抽出し、Excelに保存する。
- ・マニュアルや規定文書から「特定の章」を抽出する。 など。

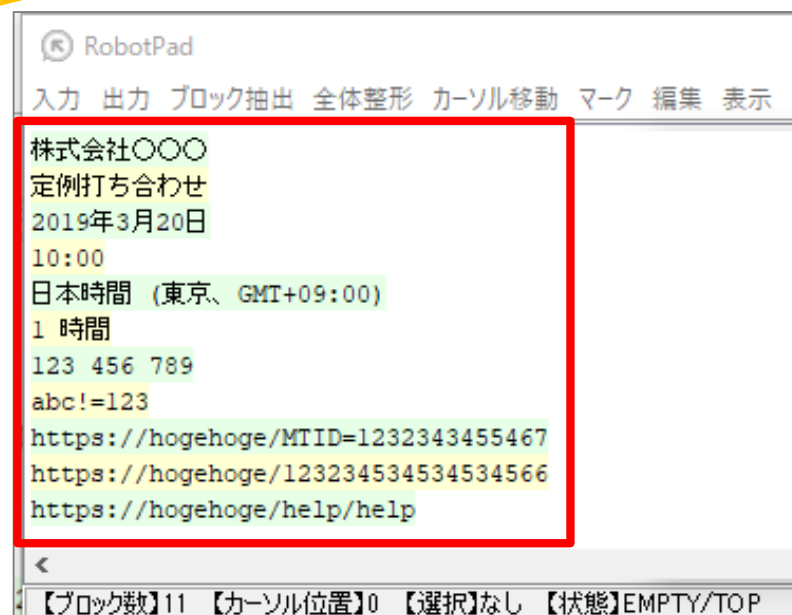
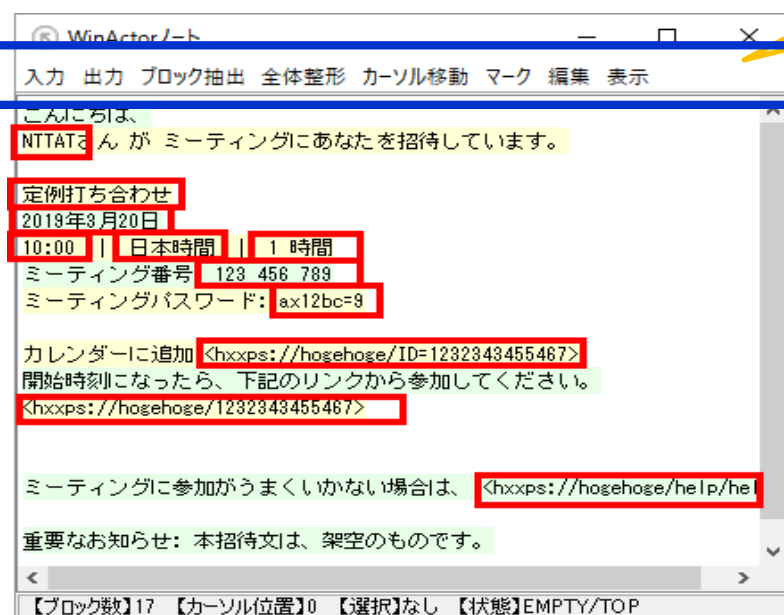


# 新機能追加: テキスト処理ツール「WinActorノート」(2/3)

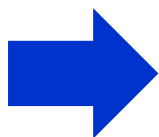
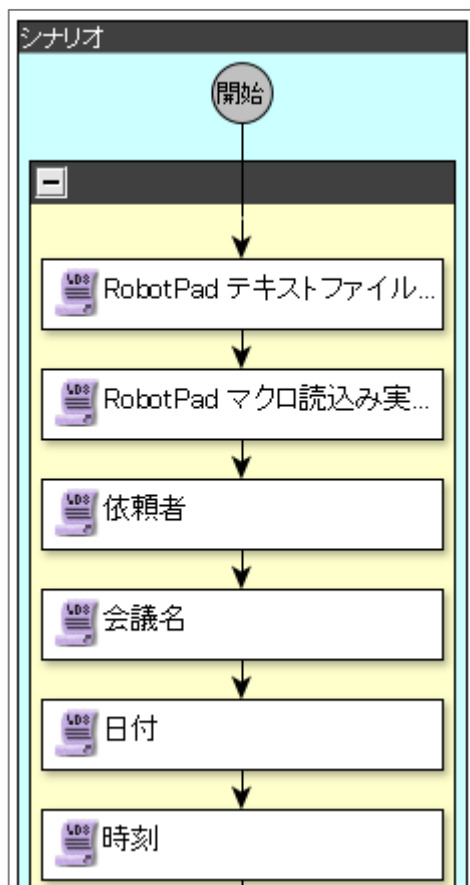


起動

ツール上の機能を使って、  
必要なテキストを抽出する。



# 新機能追加: テキスト処理ツール「WinActorノート」(3/3)



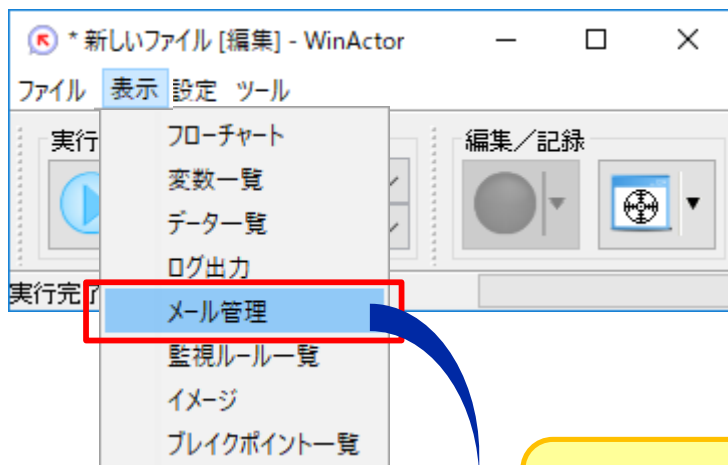
変数一覧

グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	コメント
グループなし	テキスト	https://hoge hoge/MTID=1232343455467	<input type="checkbox"/>		
	依頼者	株式会社〇〇〇	<input type="checkbox"/>		
	会議名	定例打ち合わせ	<input type="checkbox"/>		
	日付	2019年3月20日	<input type="checkbox"/>		
	時刻	10:00	<input type="checkbox"/>		
	会議ID	123 456 789	<input type="checkbox"/>		
	会議パスワード	abc! =123	<input type="checkbox"/>		
	会議参加URL	https://hoge hoge/123234534534534566	<input type="checkbox"/>		
	会議キャンセルURL	https://hoge hoge/help/help	<input type="checkbox"/>		

抽出したテキストを変数に保存し、シナリオで使用する事が可能。

# 新機能追加: メール受信機能(1/2)

メール受信をトリガとしたシナリオの作成ができるようになりました。



## メール受信設定画面

The 'メール受信設定' (Email Reception Settings) dialog box is shown. It has tabs for '接続設定' (Connection Settings), '保存設定' (Save Settings), and '取得条件設定' (Acquisition Conditions). The '接続設定' tab is active, showing fields for 'ホスト名' (Host Name), 'ユーザ名' (User Name), 'パスワード' (Password), '認証方式' (Authentication Method) with radio buttons for 'USER/PASS認証' and 'APOP認証', 'ポート番号' (Port Number) set to 110, '接続の保護' (Connection Protection) set to 'しない' (None), '接続タイムアウト' (Connection Timeout) set to 10,000 milliseconds, and 'メール受信タイムアウト' (Email Reception Timeout) set to 10,000 milliseconds. There is a checkbox for '取得したメールをサーバから消去' (Delete received emails from server) which is unchecked. 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom.

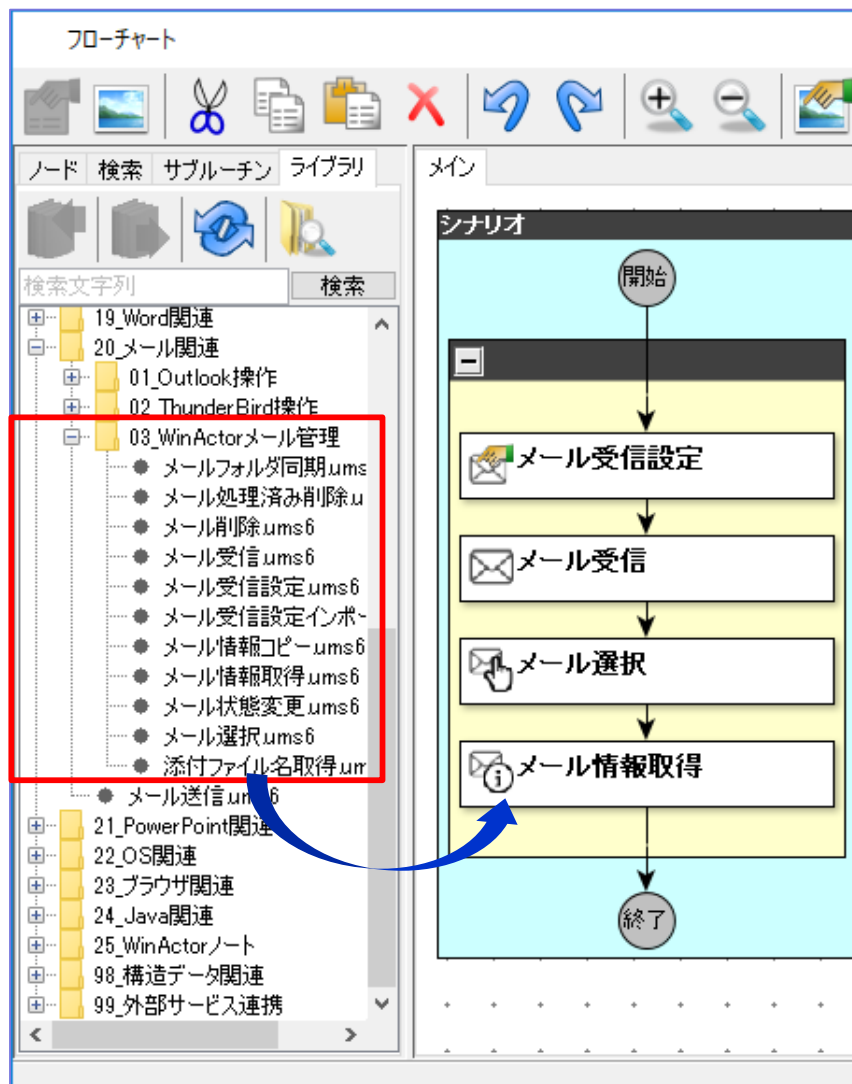
受信したメールの  
管理画面を新設

## メール管理画面

The 'メール管理' (Email Management) screen displays a table of received emails. The table has columns for No., ユニークID (Unique ID), フォルダ名 (Folder Name), 状態 (Status), 送信日 (Transmission Date), 差出人 (Sender), 表題 (Subject), 本文 (Body), and 添付 (Attachments). There are three rows of data.

No.	ユニークID	フォルダ名	状態	送信日	差出人	表題	本文	添付
1	11234	20180425_0415...	処理済み	2018/7/1 11:35:00	aa@test.jp	入学式につい...	みなさま、こん...	2個
2	22345	20180426_0415...	未処理	2018/7/3 12:22:10	bb@test.jp	運動会につい...	拝啓。いかが...	なし
3	33456	20180427_0415...	未処理	2018/7/11 09:04:21	cc@test.jp	卒業式につい...	早いもので。	なし

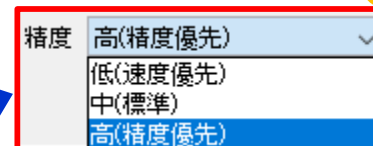
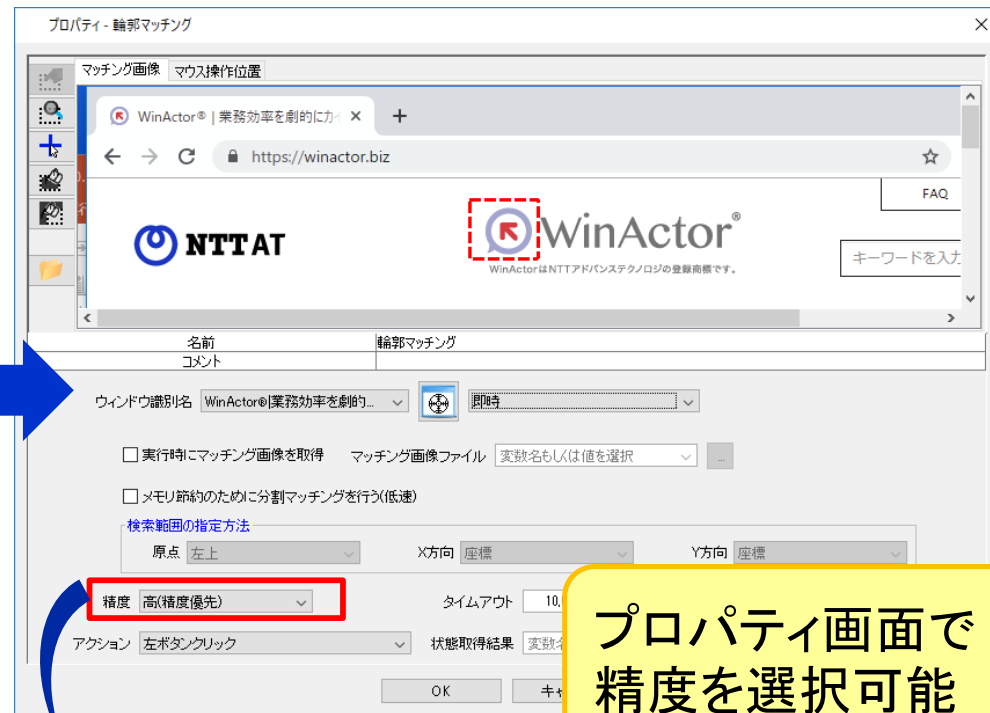
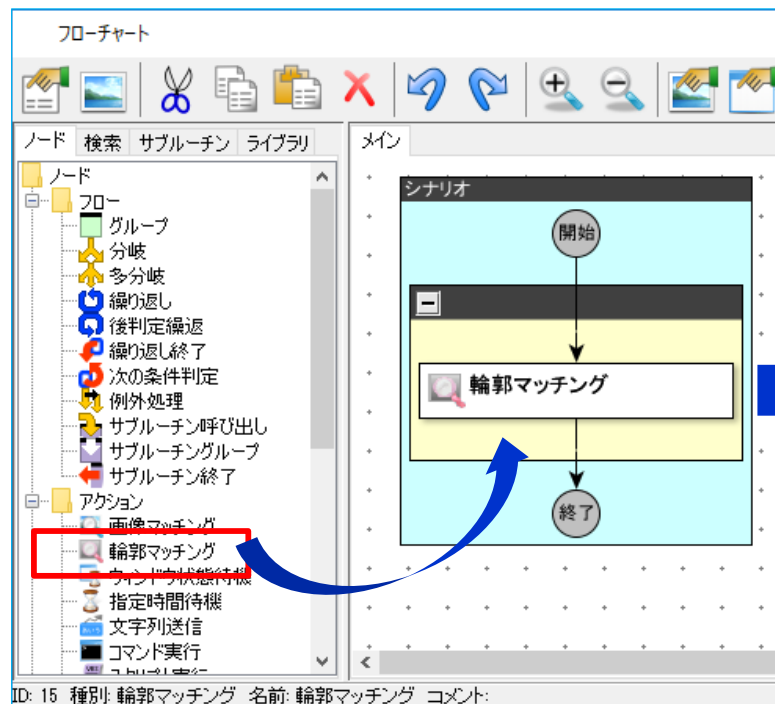
# 新機能追加: メール受信機能(2/2)



受信したメールの情報  
(件名、本文、差出人、日  
付、添付ファイルなど)を  
取得し、シナリオ内で利  
用可能

# 新機能追加：画像マッチング精度向上

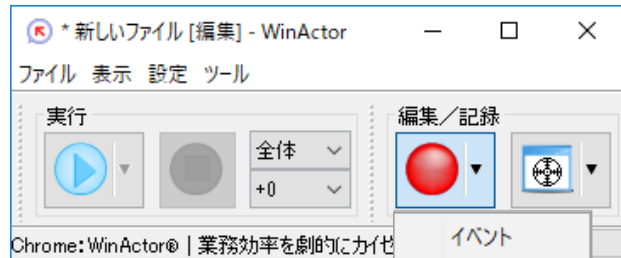
既存の画像マッチングに加え、高精度の「輪郭マッチング」を追加しました。異なるサイズの画像が認識可能となったため、解像度の異なる環境で画像マッチングの精度が向上します。



# 新機能追加: Google Chrome操作自動記録

Google Chromeの操作を自動記録できるようになりました。

※別途Google Chrome上で拡張機能のインストールが必要です。

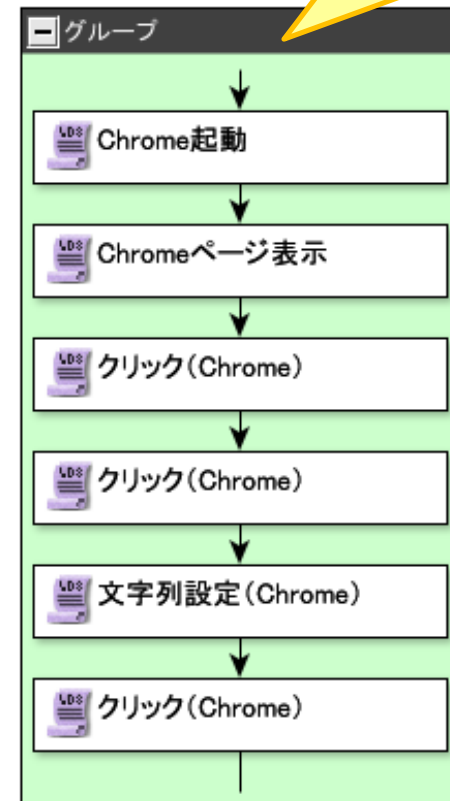


Chromeモードで記録開始



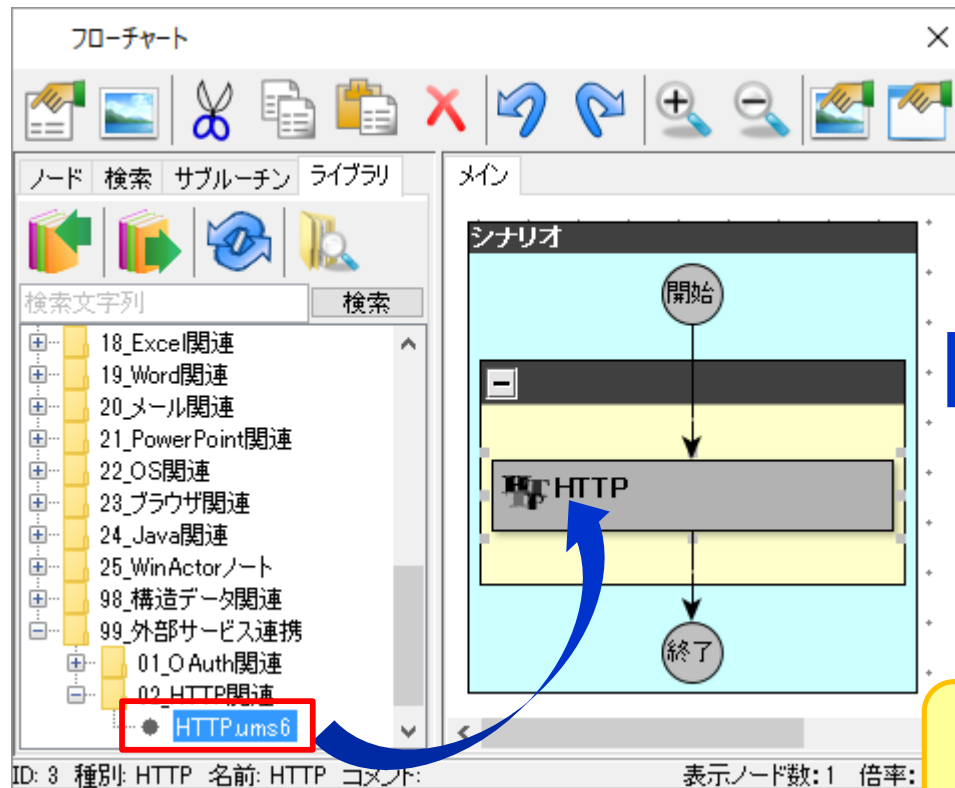
Chrome上で操作を実施

Chrome操作のライブラリが自動作成される

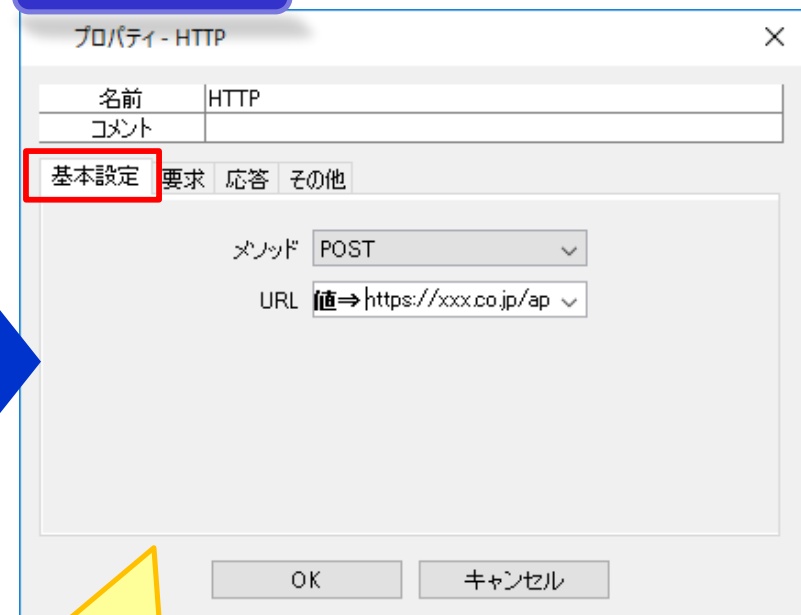


# 新機能追加: HTTPリクエスト用アクション追加(1/2)

HTTPリクエスト用アクションを追加しました。  
本アクションを使用することで他システムに対するHTTPリクエストやレスポンスの取得が可能となります。



## 基本設定



リクエストURLやメソッド  
(GET/POST/PUT)を指定

# 新機能追加: HTTPリクエスト用アクション追加(2/2)



## 要求設定

プロパティ - HTTP

名前	HTTP
コメント	

基本設定 **要求** 応答 その他

ヘッダ ボディ

キー	型	値
request1	整数値	value1
request2	文字列	value2

OK キャンセル

リクエスト時に送信する  
パラメータを設定

## 応答設定



プロパティ - HTTP

名前	HTTP
コメント	

基本設定 要求 **応答** その他

ヘッダ ボディ ステータスコード

☐ ファイル名 変数名もしくは値を選択

☒ キーと値  

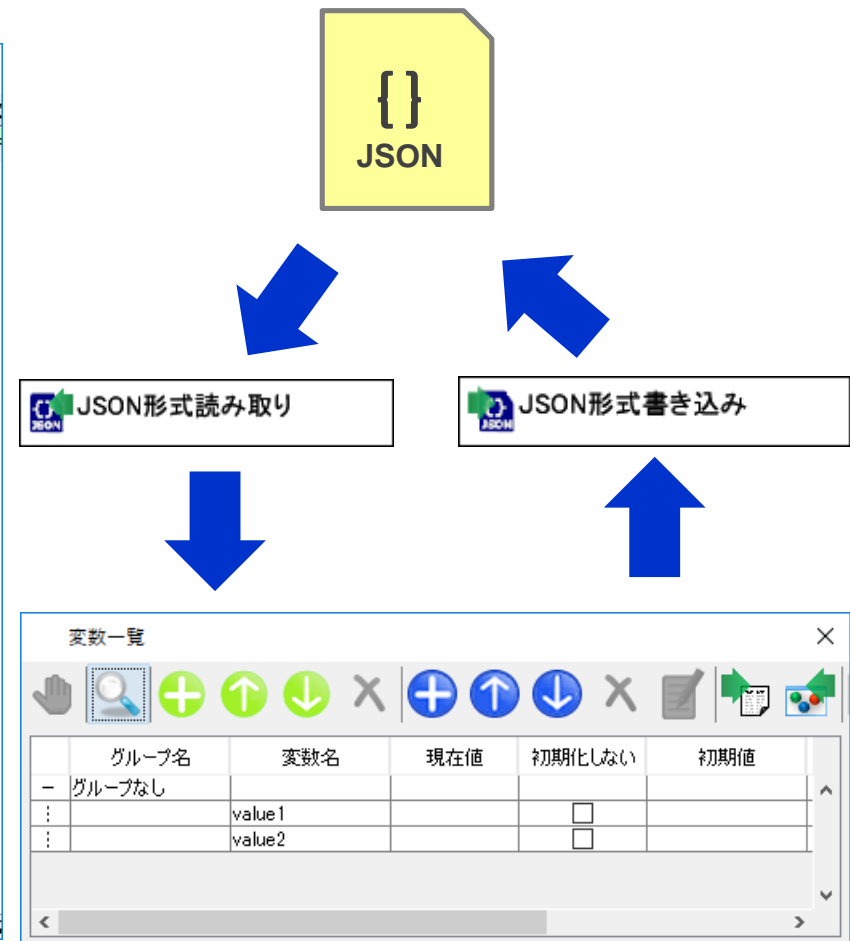
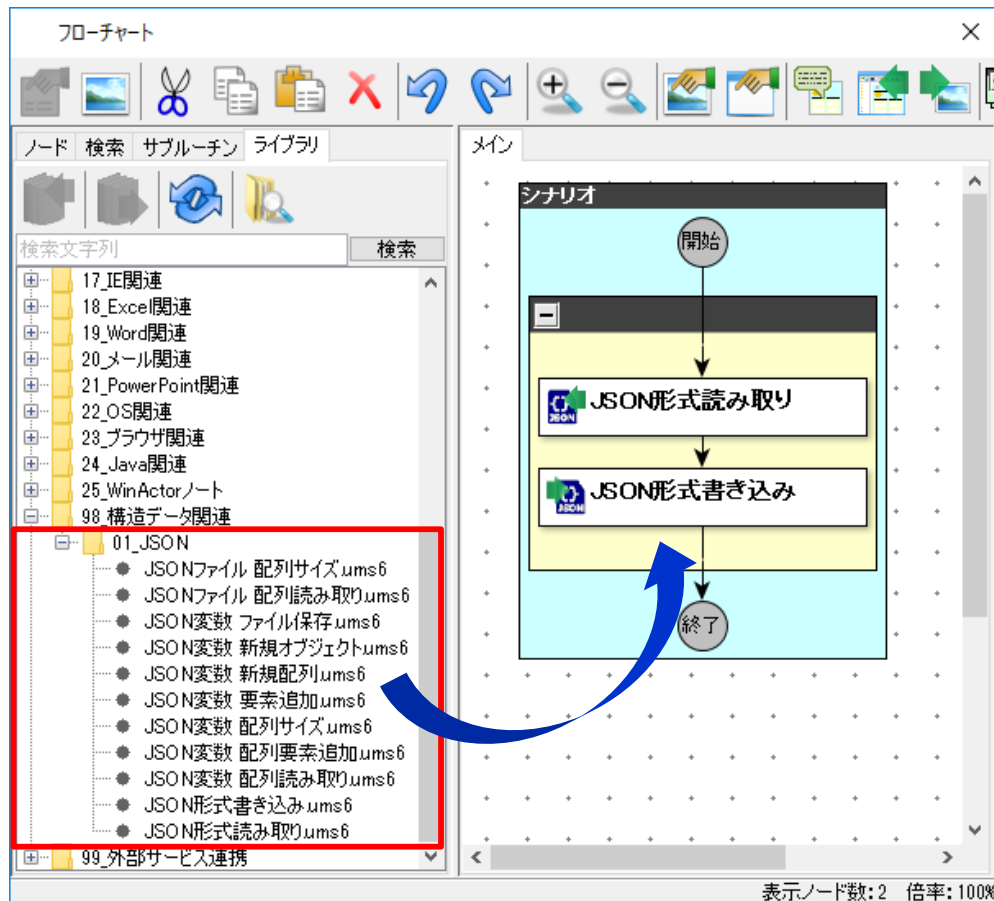
キー	値
response1	value1
response2	value2

OK キャンセル

レスポンスの保存設定

# 新機能追加:JSON形式変換用アクション追加(1/2)

JSON形式のデータを変数に相互変換し、シナリオで使用することが可能となりました。



# 新機能追加:JSON形式変換用アクション追加(2/2)

## 読み取り設定

プロパティ - JSON形式読み取り

名前	JSON形式読み取り
コメント	

基本設定 詳細設定

☒ JSONファイルから読み取り 値⇒ sample.json

☐ 変数から読み取り 変数名を選択

OK キャンセル

## 書き込み設定

プロパティ - JSON形式書き込み

名前	JSON形式書き込み
コメント	

基本設定 詳細設定

☒ JSONファイルに保存 値⇒ sample.json



☐ 変数に格納 変数名を選択

OK キャンセル

プロパティ - JSON形式読み取り

名前	JSON形式読み取り
コメント	

基本設定 詳細設定



キー	値
key1	value1
key2	value2

OK キャンセル

プロパティ - JSON形式書き込み

名前	JSON形式書き込み
コメント	

基本設定 詳細設定

キー	型	値
key1	整数値	value1
key2	文字列	value2

OK キャンセル

# 新機能追加: ステップ実行機能(1/2)

シナリオ作成時のデバッグをするために、ノード単位にブレイクポイントを設定してステップ実行することが可能となりました。

The image illustrates the process of adding a breakpoint to a scenario node in WinActor. It shows three main components: the WinActor main window, the 'Breakpoint List' (ブレイクポイント一覧) dialog, and the 'Scenario' (シナリオ) editor.

**WinActor Main Window:** The '表示' (View) menu is open, and 'ブレイクポイント一覧' (Breakpoint List) is selected.

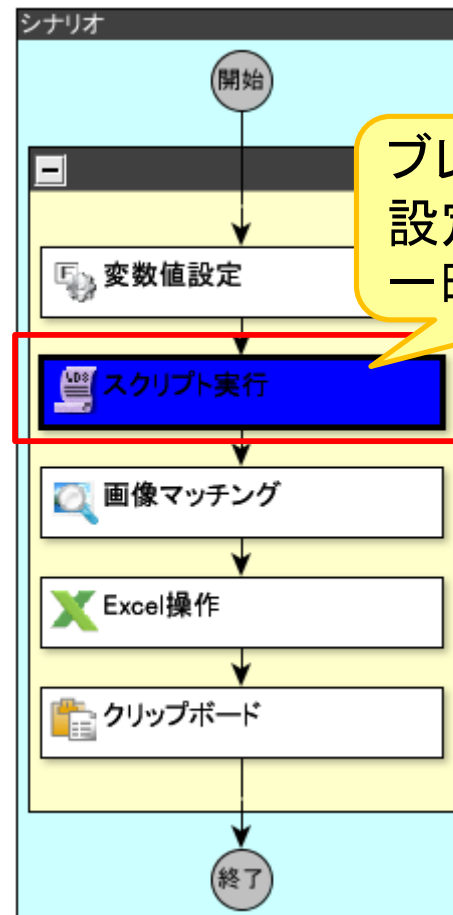
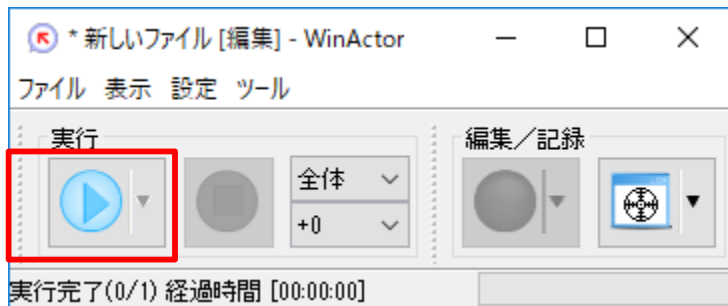
**シナリオ (Scenario) Editor:** A flowchart is shown with nodes: 開始 (Start), 変数値設定 (Set Variable Value), スクリプト実行 (Execute Script), 画像マッチング (Image Matching), Excel操作 (Excel Operation), and クリップボード (Clipboard). The 'スクリプト実行' node is highlighted with a red dashed box, indicating where a breakpoint is being added.

**ブレイクポイント一覧 (Breakpoint List) Dialog:** This dialog shows a table of breakpoints. A yellow callout points to the 'ブレイクポイント画面を表示' (Show Breakpoint Screen) button. Another yellow callout points to the 'ブレイクポイントを追加' (Add Breakpoint) button.

ID	種別	名前
38	スクリプト実行	スクリプト実行
51	Excel操作	Excel操作

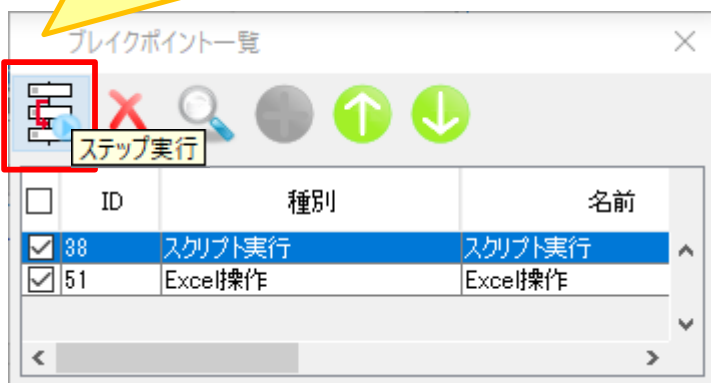
**Context Menu:** A right-click context menu is open over the 'スクリプト実行' node in the scenario editor. The 'ブレイクポイント追加' (Add Breakpoint) option is highlighted with a red box.

# 新機能追加: ステップ実行機能(2/2)



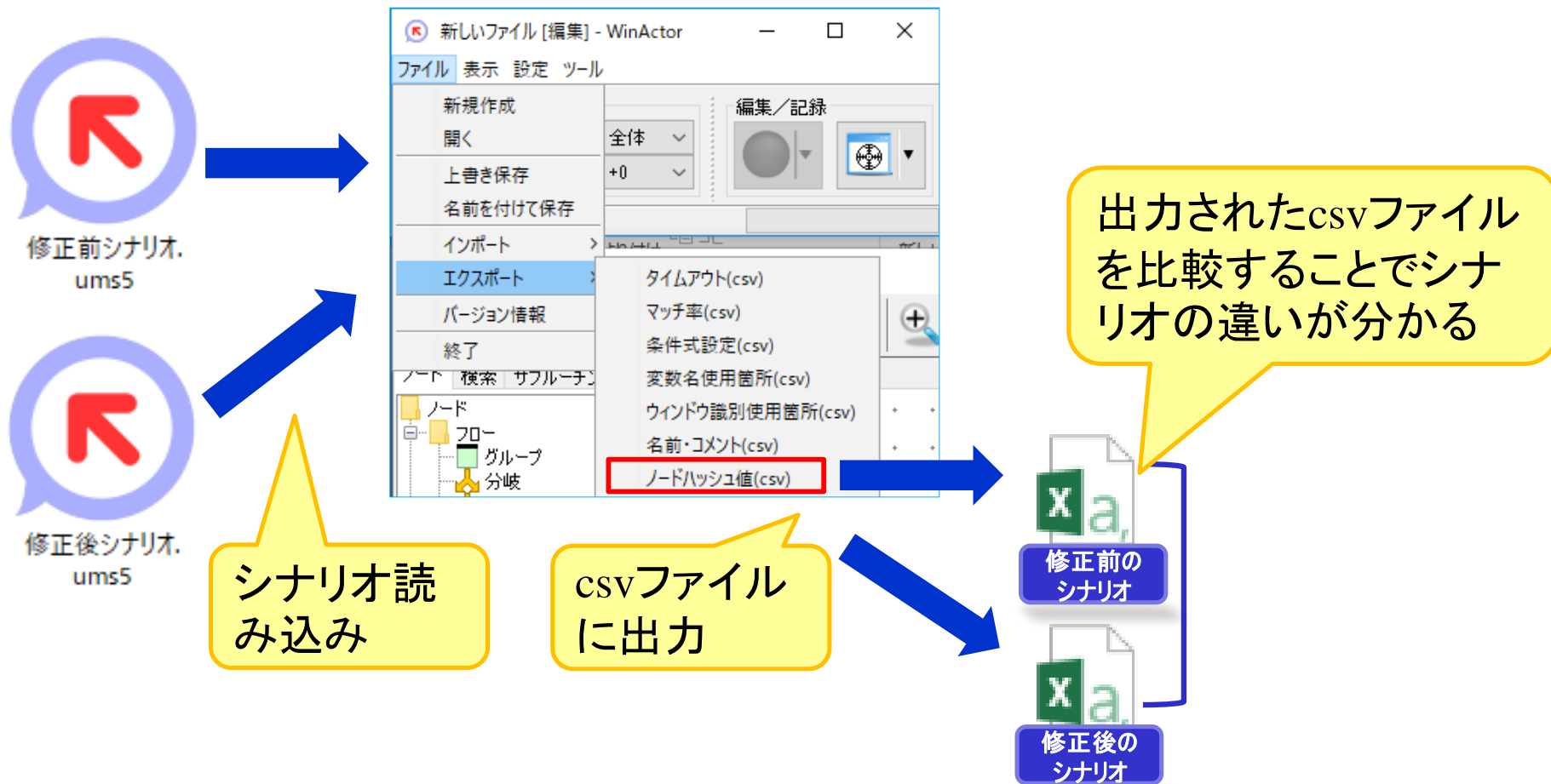
ブレイクポイントを  
設定したノードで  
一時停止する

1ノードずつ実行したい  
場合はステップ実行ボ  
タンを使用する



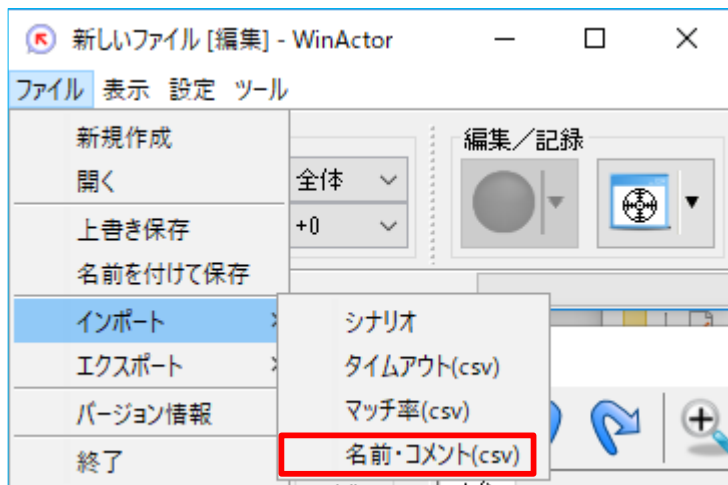
# 新機能追加: ノードハッシュ値のエクスポート

複数のシナリオを比較するために、シナリオ中の各ノードのハッシュ値を、csvファイルにエクスポートすることが可能となりました。



# 新機能追加: ノードの名前、コメントの一括更新

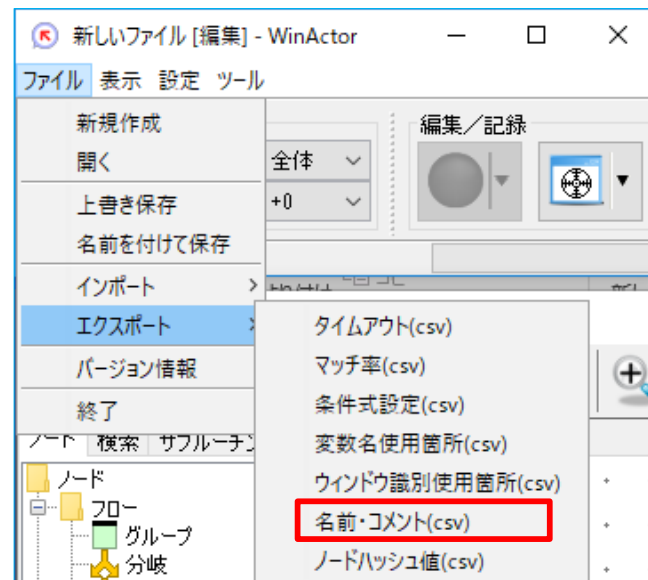
シナリオの「ノード名」と「ノードコメント」をcsvファイルで一括更新できるようになりました。



CSVファイル  
で一括更新



ID,種別,名前,コメント  
3,画像マッチング,画像マッチング1,コメント1  
4,ウィンドウ状態待機,ウィンドウ状態待機2,コメント2  
5,指定時間待機,指定時間待機3,コメント3  
:

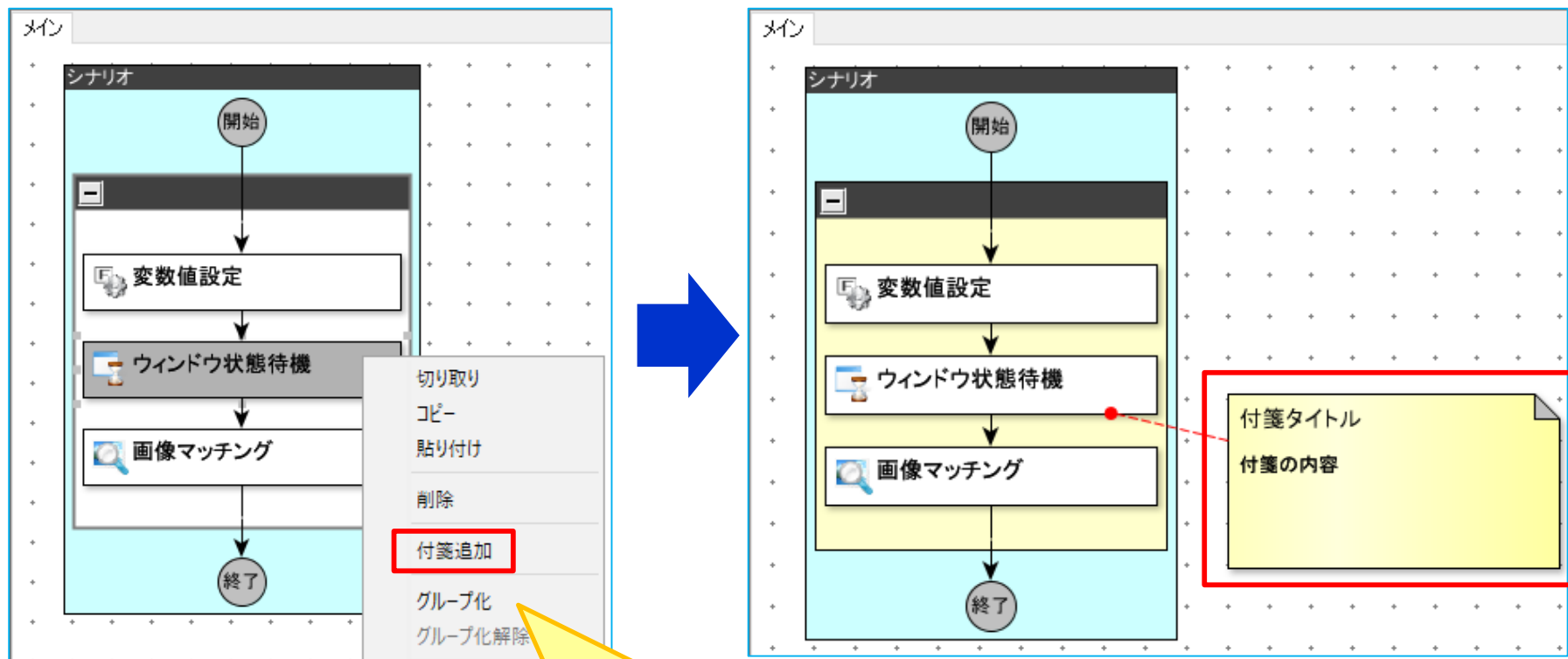


CSVファイル  
出力も可能



# 新機能追加: フローチャートに付箋メモ

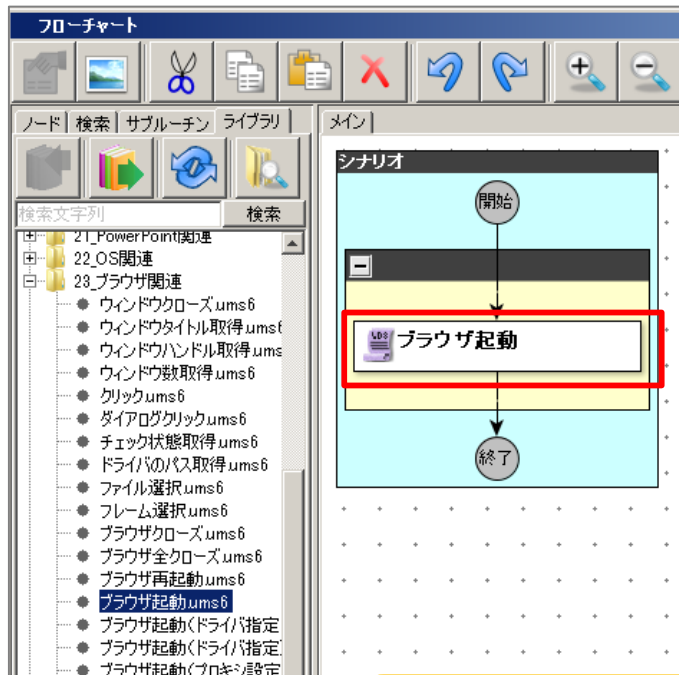
フローチャートに「付箋メモ」を設定することが可能となりました。



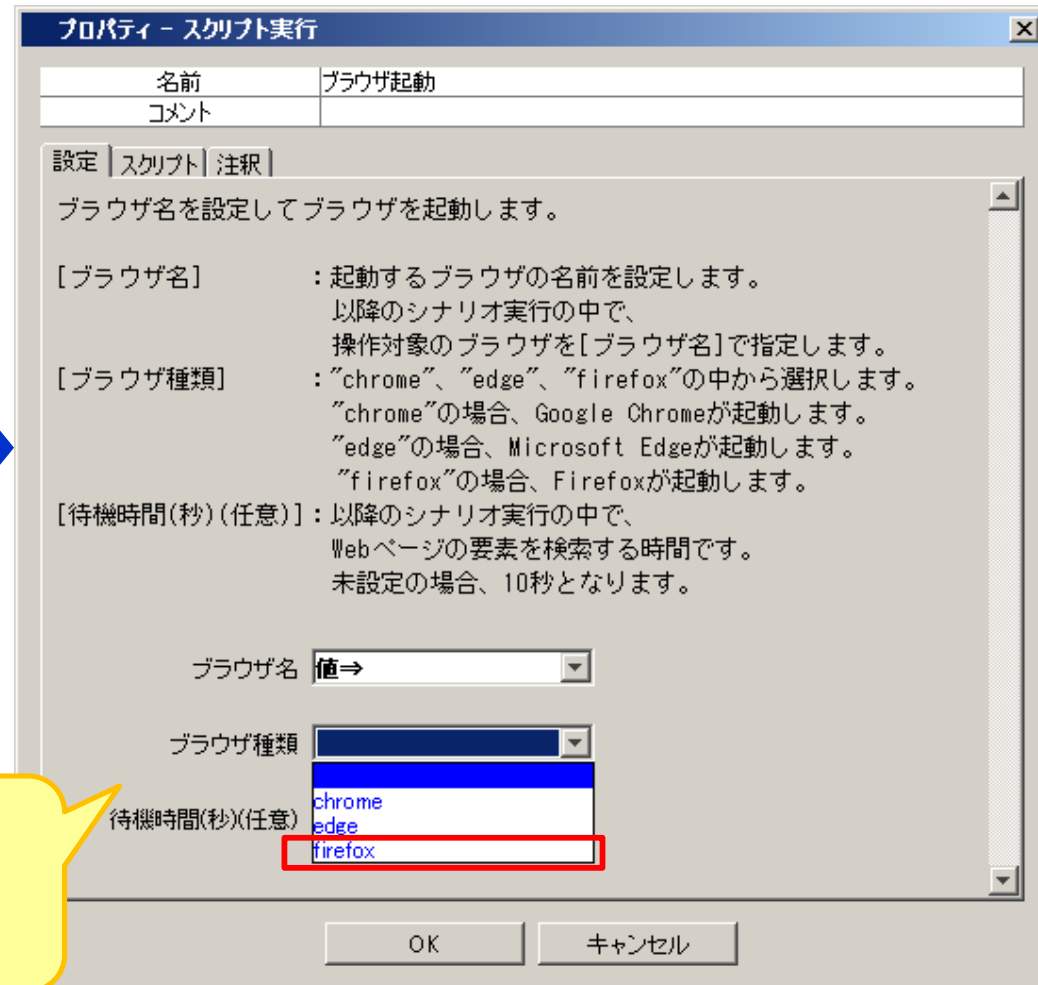
右クリックメニューから付箋を追加

# 新機能追加: Firefox自動操作

ブラウザ関連ライブラリで、既存のChrome, Edgeに加えて「Firefox」の操作が可能となりました。



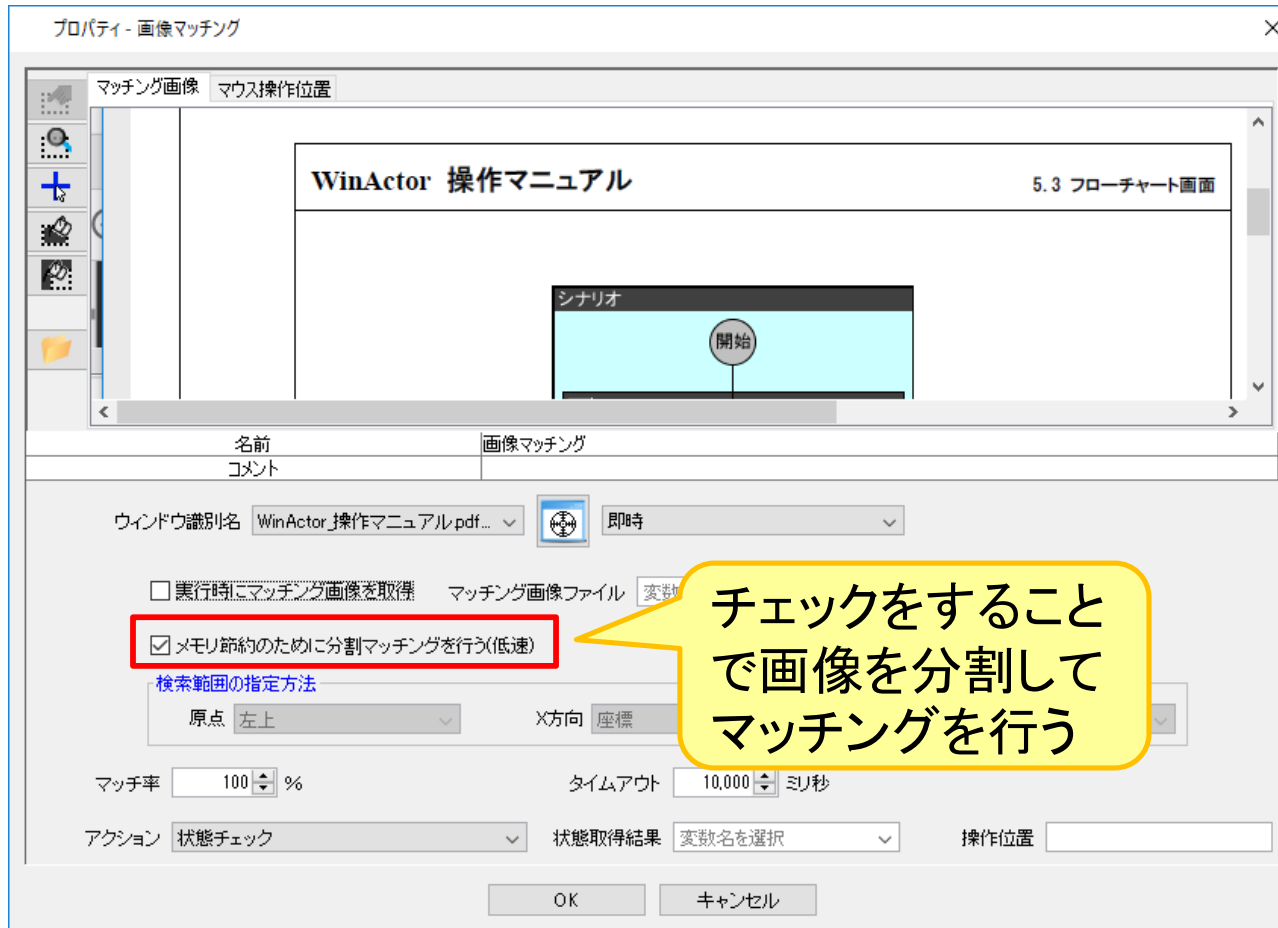
ブラウザ種類で  
Firefoxが指定可能  
となった



# 機能改善

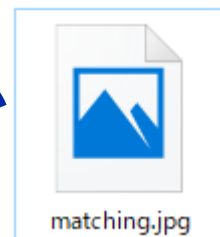
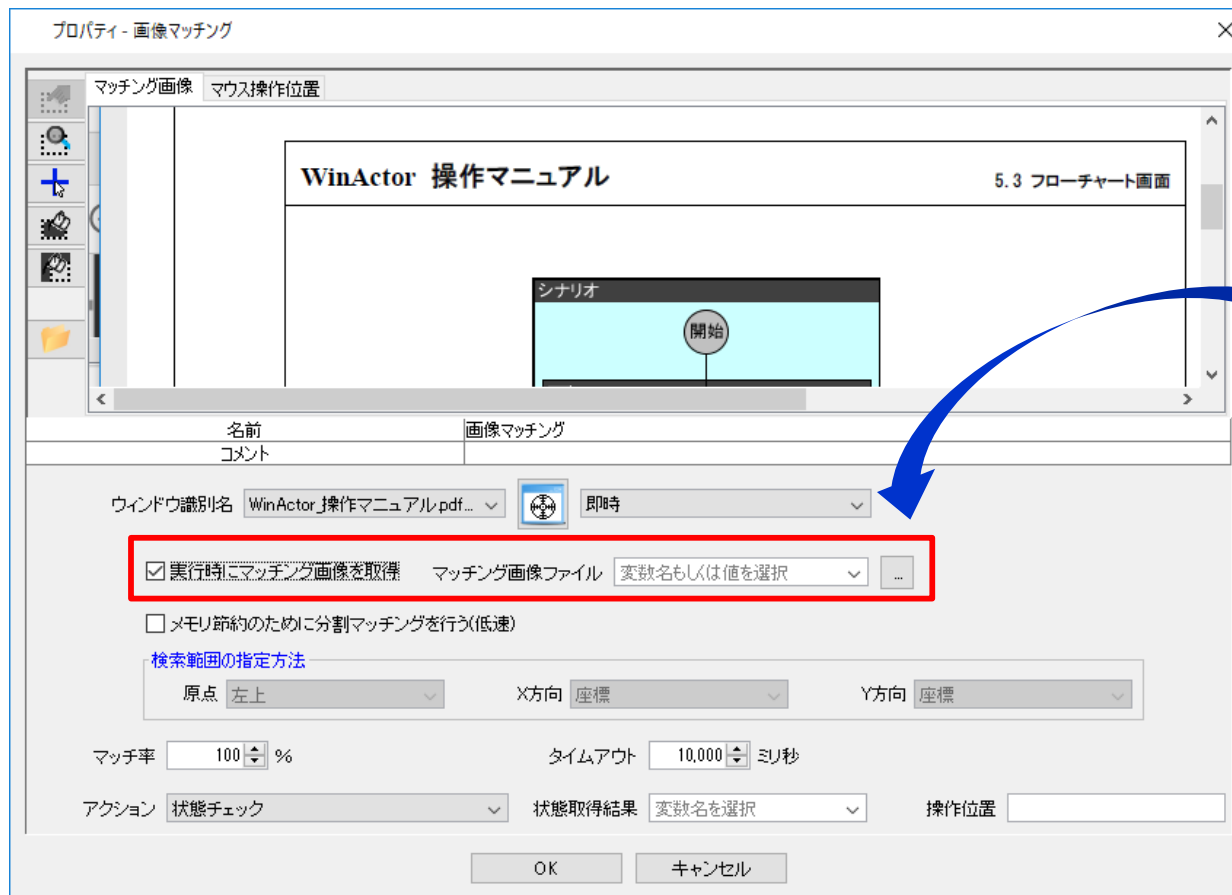
# 機能改善：高解像度画像に対する画像マッチング

フルHDなどの大きなサイズの画像に対して「分割して画像マッチングを行う」ことで、メモリ不足によるエラー発生を低減できるようになりました。



# 機能改善: マッチング画像をファイル指定

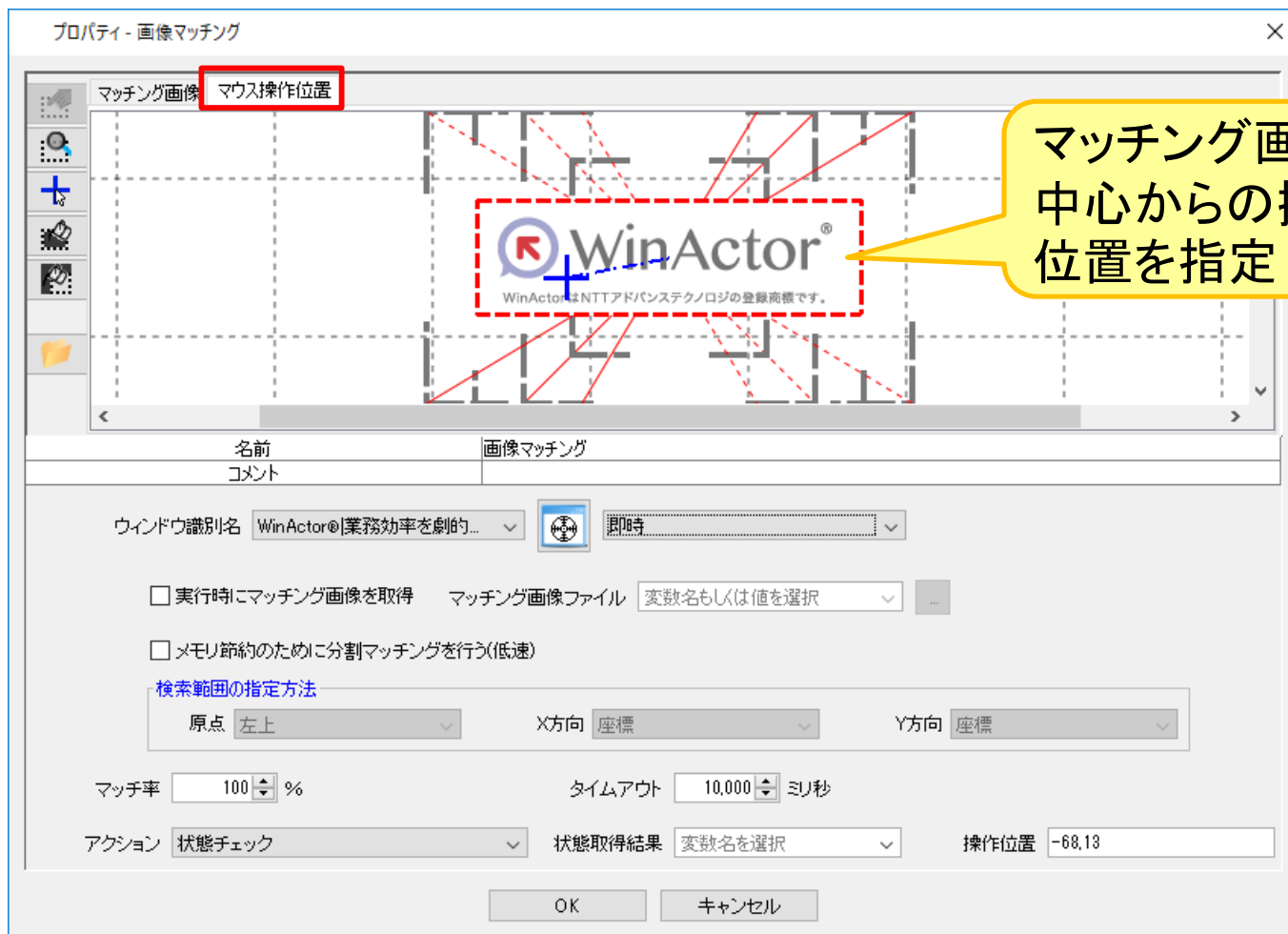
画像マッチングを「実行するタイミング」で、マッチング画像をファイルとして読み込んでマッチングを行えるようになりました。



プロパティ画面で  
画像ファイルを選  
択する

# 機能改善: 画像マッチング時のマウス操作位置の指定

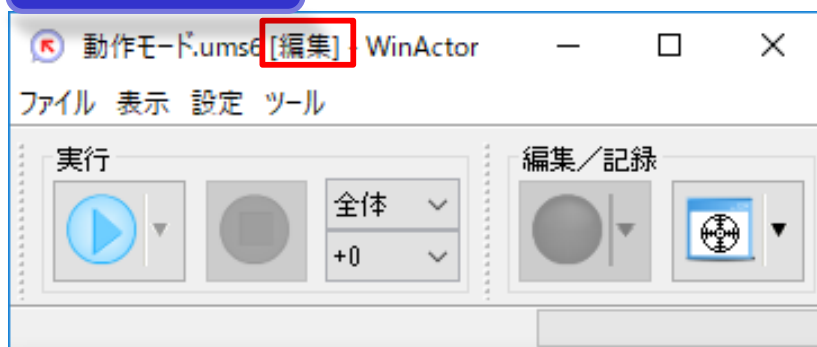
画像マッチング時のマウス操作位置を指定できるようになりました。



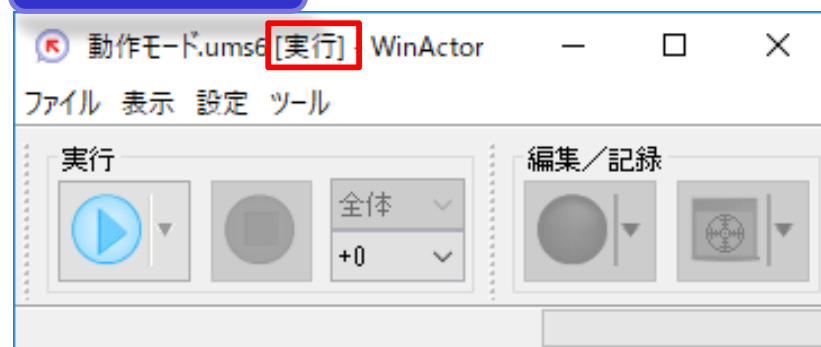
# 機能改善：動作モードの表示

読み込んだシナリオの動作モード(編集/閲覧/実行)を、メイン画面のタイトルバーで確認できるようになりました。

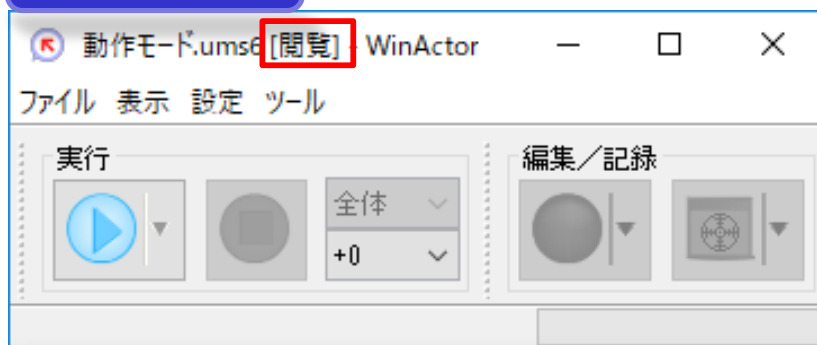
## 編集モード



## 実行モード



## 閲覧モード



# 機能改善: シナリオ試用期限

シナリオ有効期限とは別に「試用期限」を設定し、評価版ライセンスで保存したシナリオを製品版ライセンスで編集可能としました。

シナリオ情報

基本設定 パスワード 時刻 その他

最終編集者 user

最終保存日時 2019/03/14 11:21:51

最終編集バージョン 6.0.0

作成者

連絡先

ノード数 1

有効期限

**試用期限 2019/04/12 23:59:59**

備考

## 【製品版での動作】

- ・有効期限が切れたシナリオは実行できない。  
※試用期限が切れていても実行できる。

## 【試用版での動作】

- ・有効期限が切れたシナリオは実行できない。
- ・試用期限が切れたシナリオは実行できない。

# 機能改善: 複数ノードのコピー & ペースト

複数のノードをまとめてコピー & ペーストすることが可能となりました。



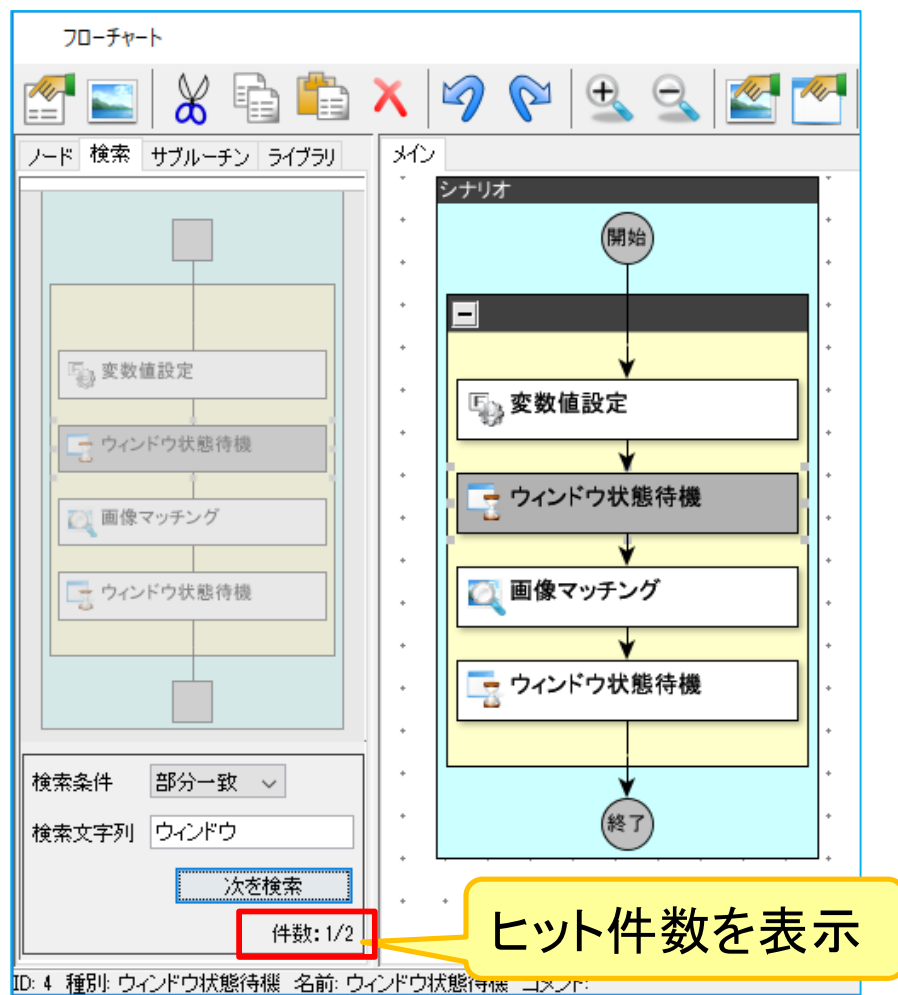
# 機能改善: 複数の浮きフローのグループ化

複数の浮きフローをまとめてグループ化することが可能となりました。



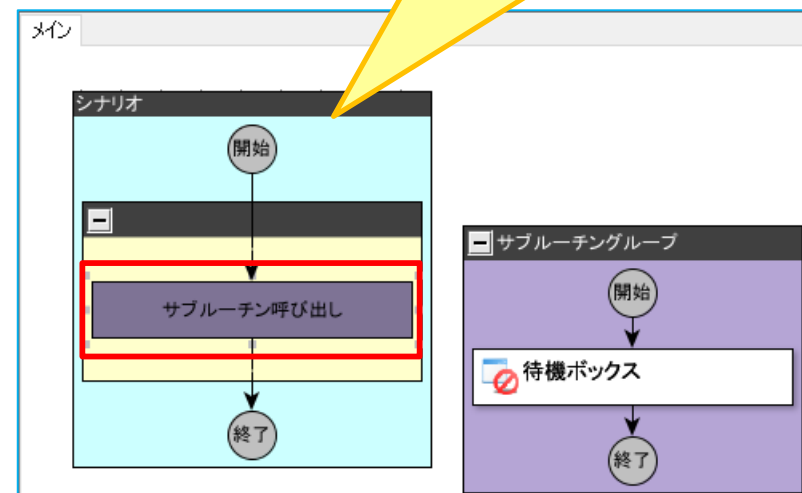
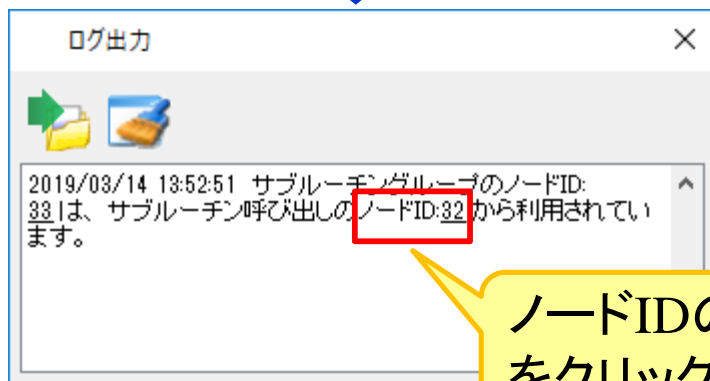
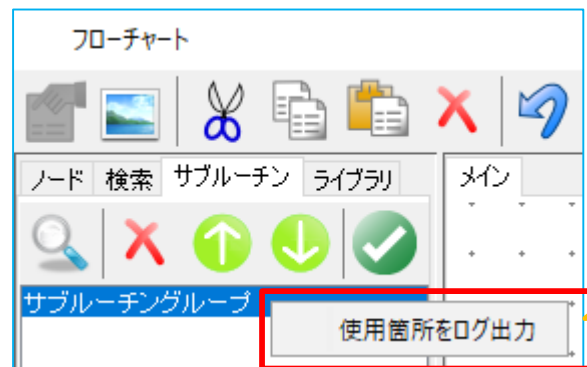
# 機能改善: ノード検索のヒット件数表示

ノード検索時の検索結果として、ヒット件数を確認することが可能となりました。



# 機能改善: サブルーチン呼び出し元の参照性向上

サブルーチングループの呼び出し元ノードIDをログに出力することで、呼び出し元を簡単に探せるようになりました。

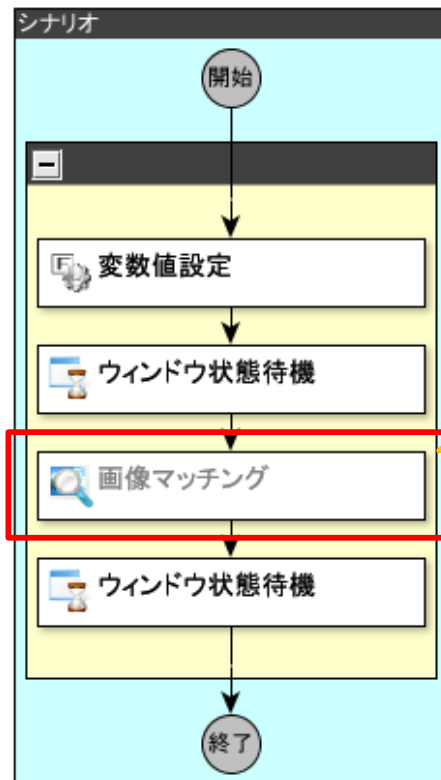


# 機能改善：実行抑止のシナリオ保存

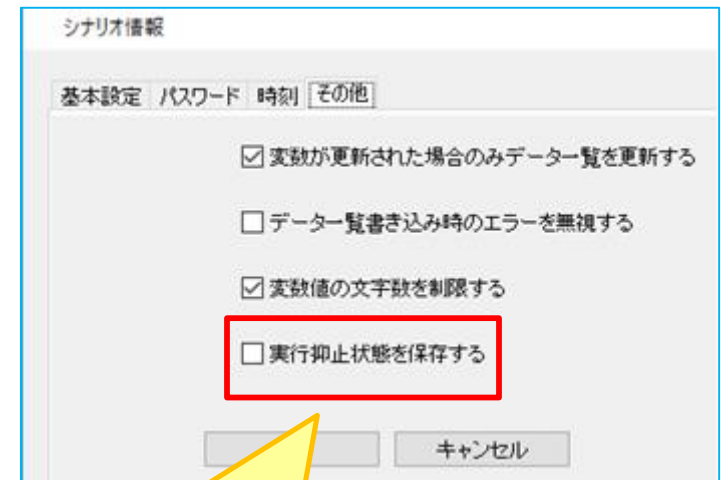
ノードの実行抑止が有効な状態でシナリオの保存ができるようになりました。

※保存するためにはシナリオ情報画面で設定をONにする必要があります。

※実行版ライセンスでシナリオを読み込んだ場合も実行抑止は有効な状態となります。



実行抑止した  
ノード



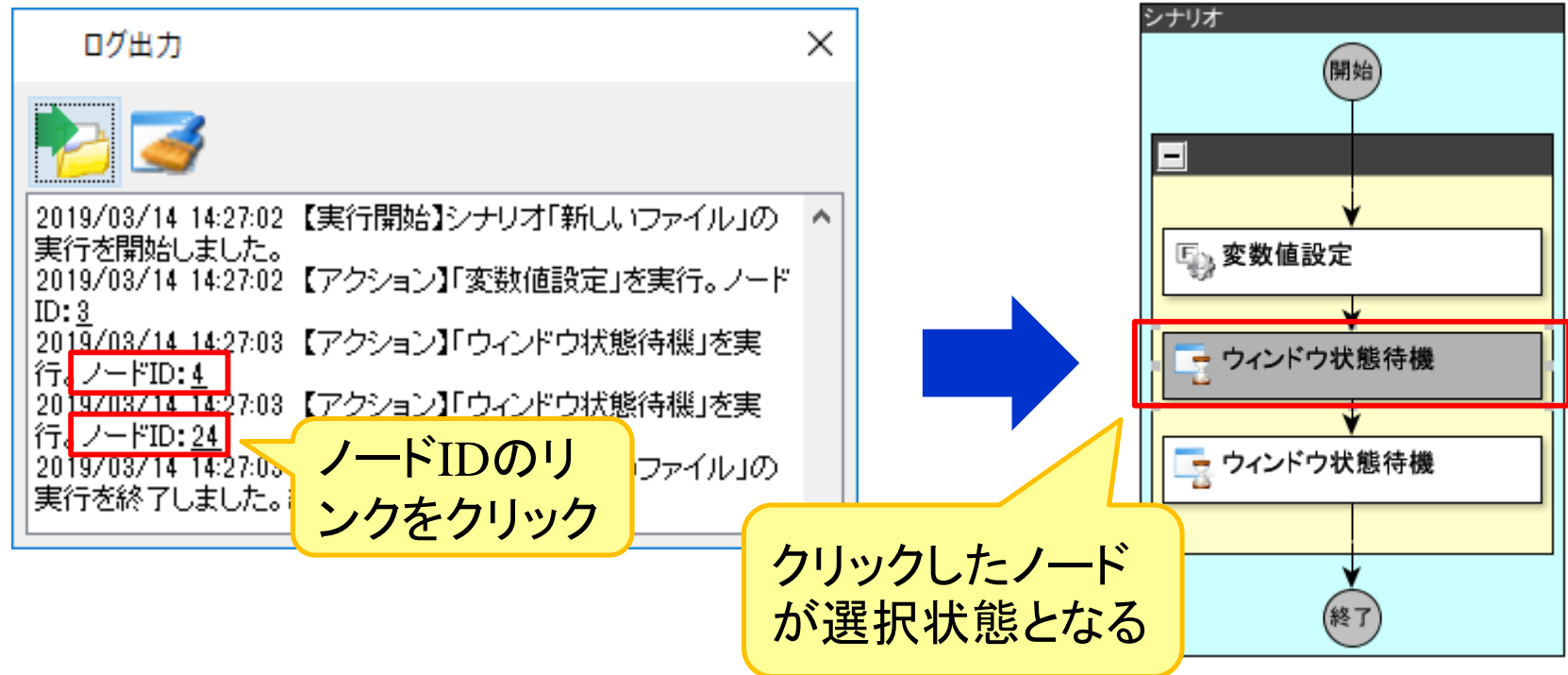
シナリオ情報画面のスクリーンショット:

- タブ: 基本設定 | パスワード | 時刻 | その他
- チェックボックス:
  - ☒ 変数が更新された場合のみデータ一覧を更新する
  - ☐ データ一覧書き込み時のエラーを無視する
  - ☒ 変数値の文字数を制限する
  - ☐ 実行抑止状態を保存する (赤枠で囲まれている)
- ボタン: キャンセル

シナリオ情報画面  
で保存するか否  
かを設定可能

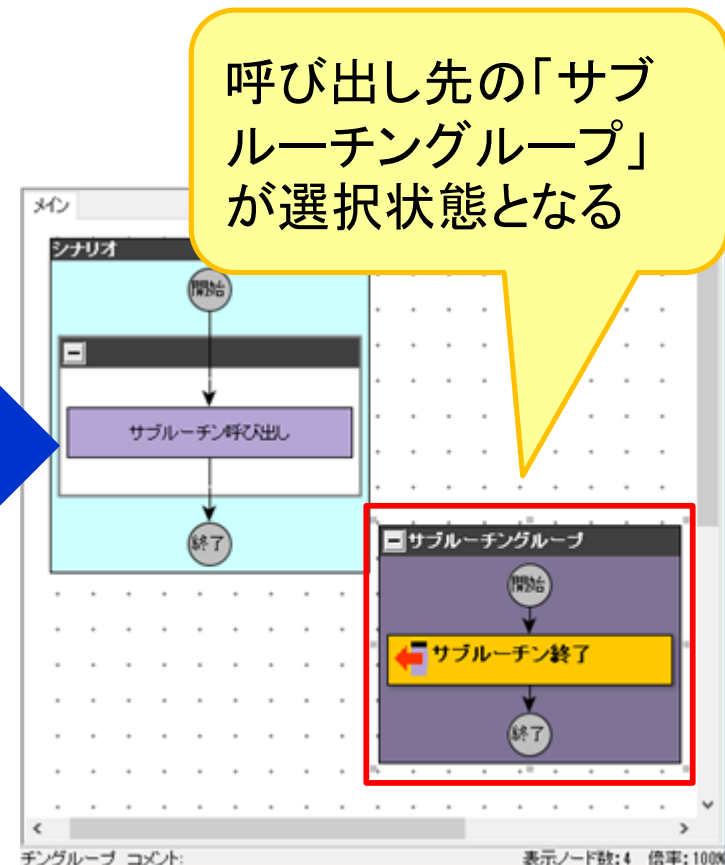
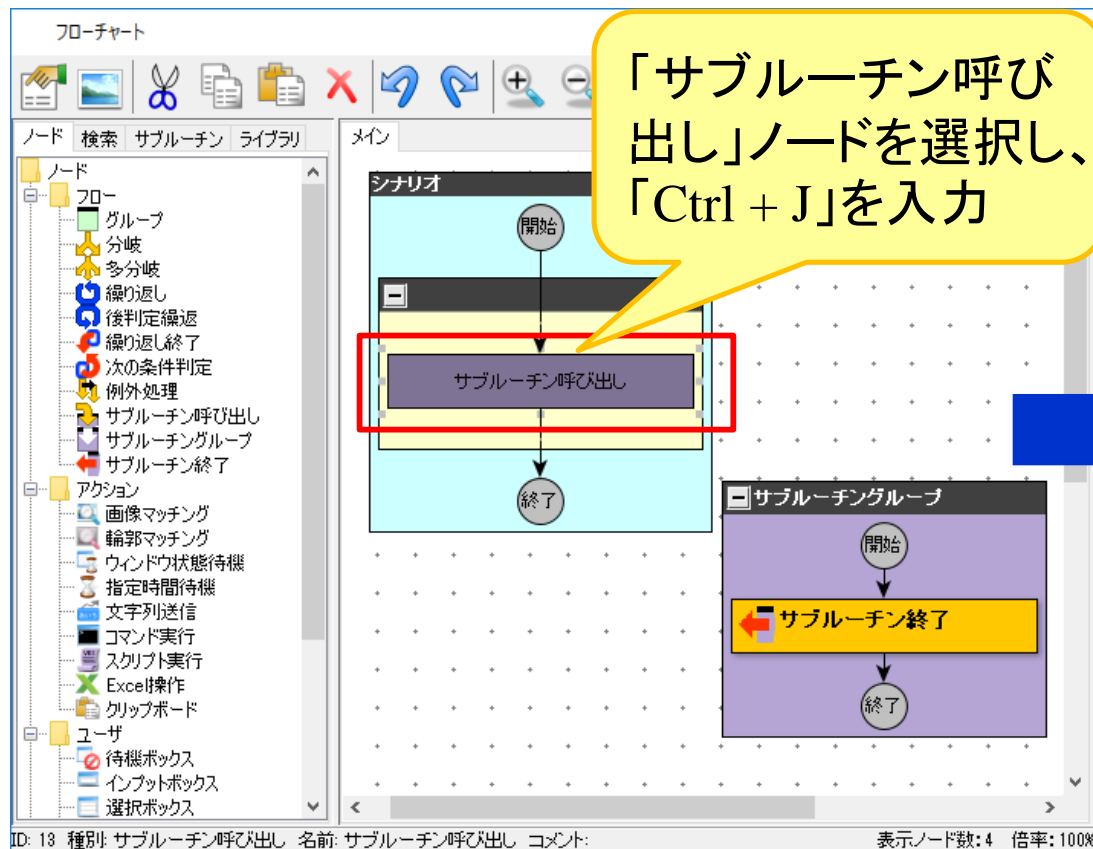
## 機能改善:ログ出力画面からノードへのリンク

ログ出力画面に表示されるノードIDのハイパーリンクをクリックすることで、  
該当のノードにリンクすることが可能となりました。



# 機能改善: サブルーチン呼び出し先ジャンプ

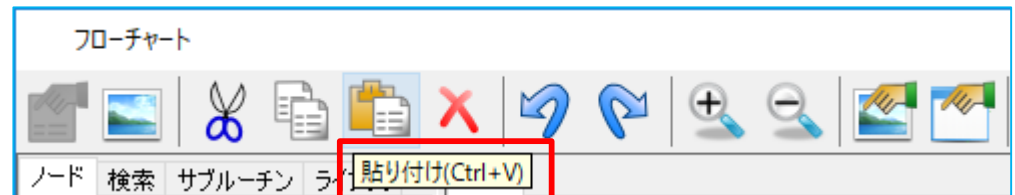
「サブルーチン呼び出し」ノードで呼び出している「サブルーチングループ」ノードにキーボードのショートカットキー(Ctrl + J)を使用してカーソル移動することが可能になりました。



# 機能改善: ショートカットキーの追加

シナリオ作成時に使用する代表的な操作に関するショートカットを追加しました。

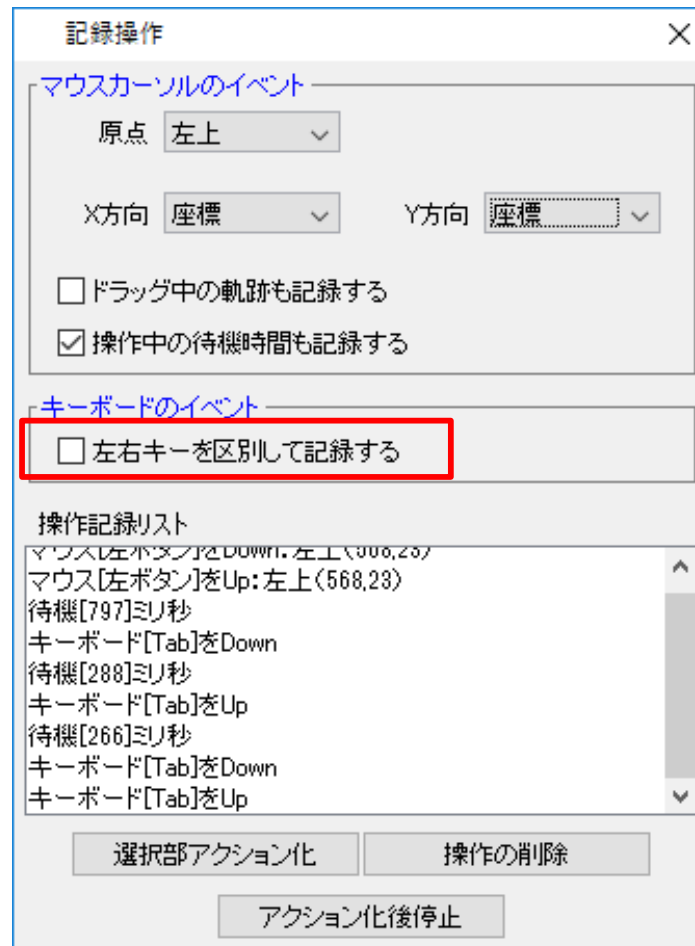
- ・フローチャート画面 プロパティ表示(Enter)
- ・イメージ表示(Ctrl+I)
- ・切り取り(Ctrl+X)
- ・コピー (Ctrl+C)
- ・貼り付け(Ctrl+V)
- ・削除>Delete)
- ・元に戻す(Ctrl+Z)
- ・やり直す(Ctrl+Y)
- ・イメージ管理(Ctrl+M)
- ・ウィンドウ識別ルール(Ctrl+W)
- ・シナリオ情報 (Ctrl+E)
- ・グループ一括クローズ (Ctrl+L)
- ・サブルーチン呼び出し先ジャンプ (Ctrl+J)
- ・変数一覧画面 追加(Insert)



ボタンのツールチップにショートカットキーを表示

# 機能改善: エミュレーション記録時の操作改善①

エミュレーション記録時にキーボード上の「左右のキーを区別」して記録できるようになりました。



記録操作

マウスカーソルのイベント

原点 左上

X方向 座標 Y方向 座標

☐ ドラッグ中の軌跡も記録する

☒ 操作中の待機時間も記録する

キーボードのイベント

☐ 左右キーを区別して記録する

操作記録リスト

マウス[左ボタン]をDown: 左上(568,23)

マウス[左ボタン]をUp: 左上(568,23)

待機[797]ミリ秒

キーボード[Tab]をDown

待機[288]ミリ秒

キーボード[Tab]をUp

待機[266]ミリ秒

キーボード[Tab]をDown

キーボード[Tab]をUp

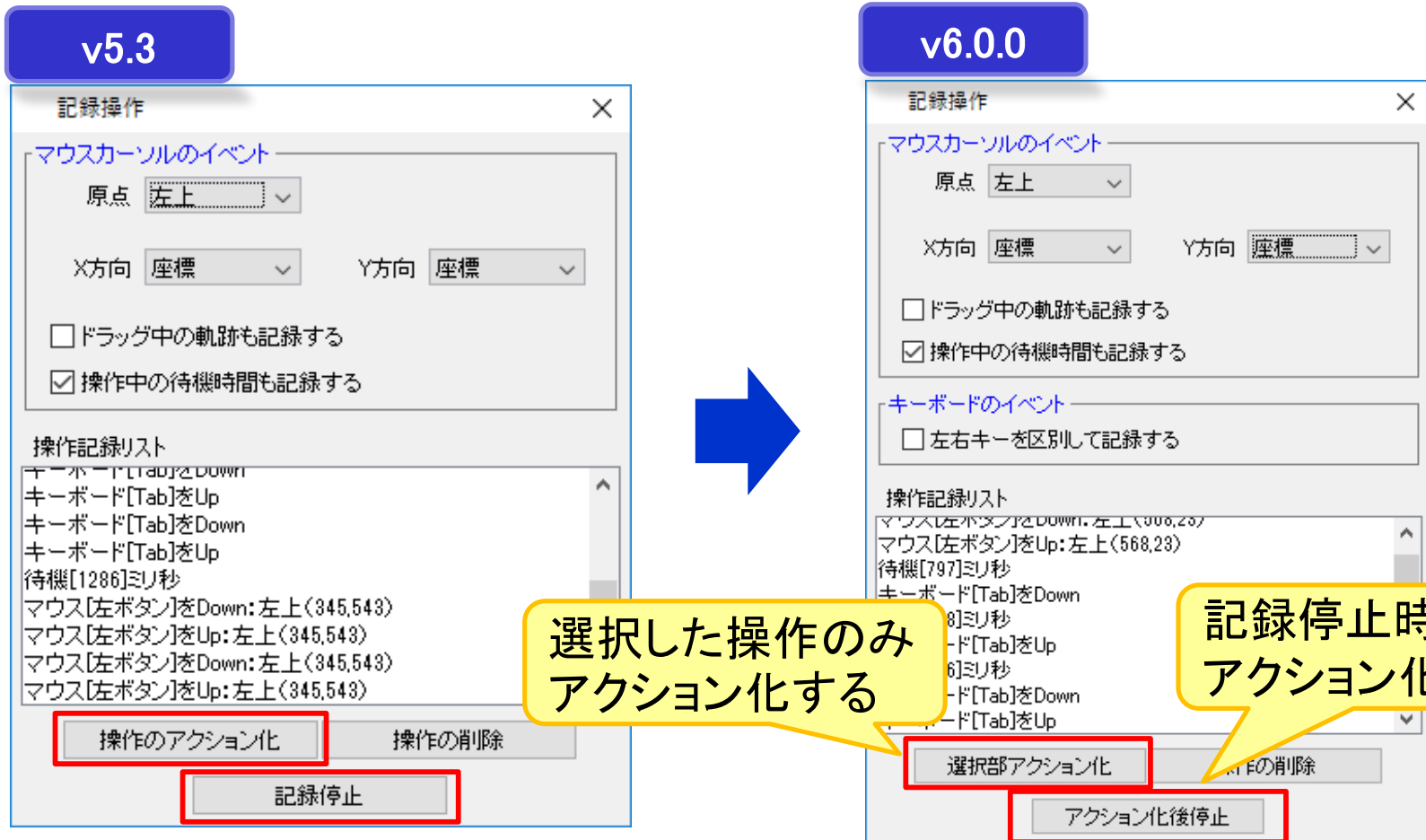
選択部アクション化 操作の削除

アクション化後停止

左右のキーを区別する場合はチェックボックスをONにする

# 機能改善: エミュレーション記録時の操作改善②

エミュレーション記録時のアクション化を忘れないようにするため、停止ボタン押下時にはアクション化するようにいたしました。



# 機能改善: 繰り返し条件でDB連携

繰り返しグループノードの条件(データ数)にDB連携で取得した値を使用することが可能となりました。

The screenshot shows a dialog box titled 'プロパティ - 繰り返しグループ' (Property - Loop Group). It contains a table with '名前' (Name) and 'コメント' (Comment) fields, both containing '繰り返しグループ'. Below the table are several radio button options: '条件式' (Condition), '回数' (Count), '範囲' (Range), 'データ数' (Data Count), and 'データ数(DB連携)' (Data Count (DB Connection)). The 'データ数(DB連携)' option is selected and highlighted with a red box. To the right of the selected option are four input fields: 'データソース名' (Data Source Name), 'ユーザ名' (Username), 'パスワード' (Password), and 'テーブル名' (Table Name), each with a dropdown menu labeled '変数名もしくは値を選択' (Select variable name or value). Below these fields is a 'カウンタ' (Counter) field with a dropdown menu labeled '変数名を選択' (Select variable name) and the text '(省略可)' (Optional). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

名前	繰り返しグループ
コメント	

☐ 条件式      条件式設定

☐ 回数      変数名もしくは値を選択 ▼

☐ 範囲      変数名もしくは値を選択 ▼ から 変数名もしくは値を選択 ▼

☐ データ数      データファイル名 変数名もしくは値を選択 ▼

☒ データ数(DB連携)      データソース名 変数名もしくは値を選択 ▼  
ユーザ名 変数名もしくは値を選択 ▼  
パスワード 変数名もしくは値を選択 ▼  
テーブル名 変数名もしくは値を選択 ▼

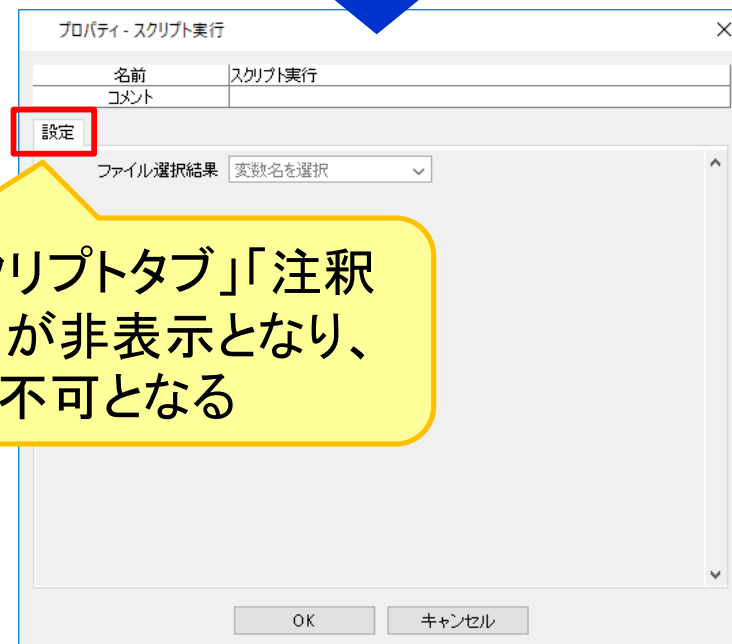
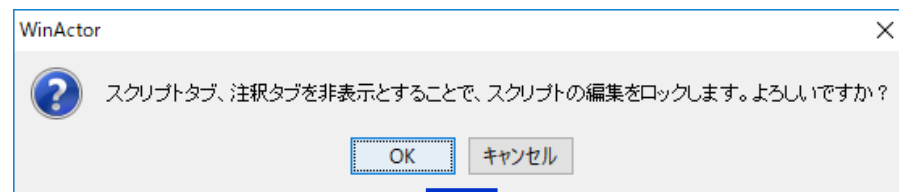
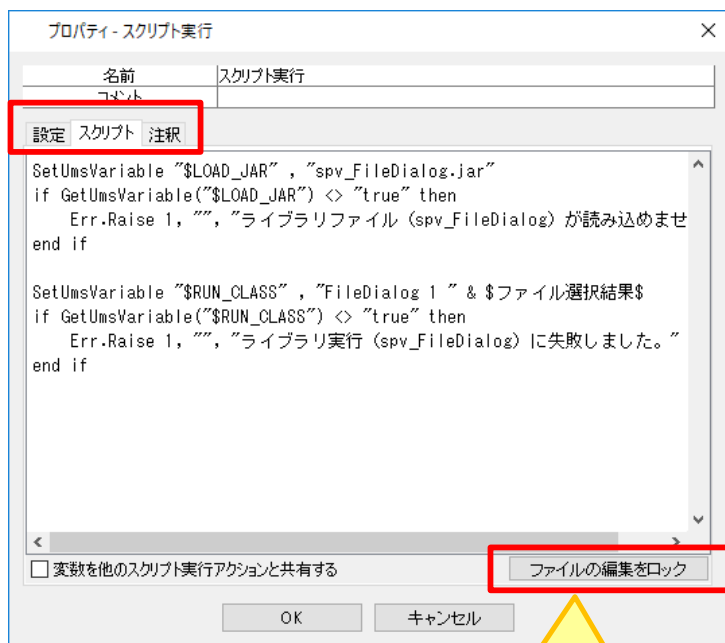
カウンタ 変数名を選択 ▼ (省略可)

OK      キャンセル

# 機能改善: スクリプト編集ロック機能

スクリプト実行アクションの「スクリプトタブ」と「注釈タブ」を非表示にすることで、編集不可にすることが可能となりました。

※編集をロックした場合、解除はできません。

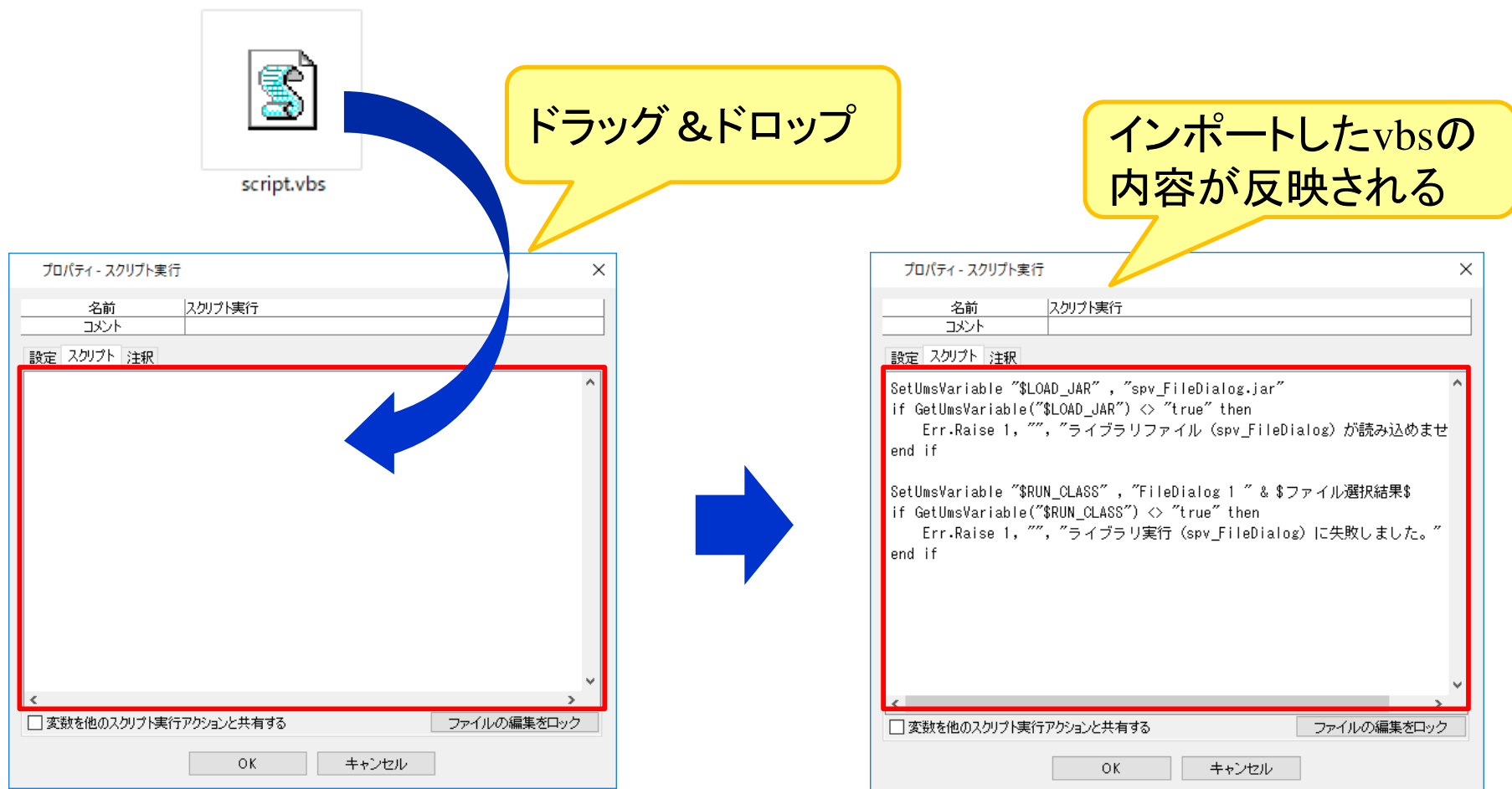


「編集をロック」  
ボタンをクリック

「スクリプトタブ」「注釈  
タブ」が非表示となり、  
編集不可となる

# 機能改善: vbsインポート機能

スクリプト実行アクションのスクリプト編集エリアにvbsファイルをドラッグ & ドロップすることでインポートが可能となりました。



# 機能改善: 値⇒へのファイル名入力補助機能

ファイルのコピー＆ペースト もしくは ファイルのドラッグアンドドロップで  
値⇒ 入力欄へファイル名が入力できるようになりました。

The diagram illustrates the file name input assistance feature in WinActor. It shows three methods: Ctrl+C, Ctrl+V, and Drag & Drop. The '値⇒' field in the 'プロパティ・スクリプト実行' dialog is highlighted, showing the file name 'ミーティング依頼.txt' being input.

**CTRL+C**

**CTRL+V**

**ドラッグ & ドロップ**

**ファイル名を入力**

ミーティング依頼.txt

プロパティ・スクリプト実行

名前: テキストファイル読み込み

コメント:

設定 スクリプト 注釈

WinActorノート に テキストファイルを読み込ませます。  
ファイル名は、シナリオファイルの置かれたフォルダからの  
相対パスで指定します。

操作: 新規テキストとして追加

文字コード: UTF-8

ファイル名: 値⇒

ファイル名 値⇒ミーティング依頼.txt

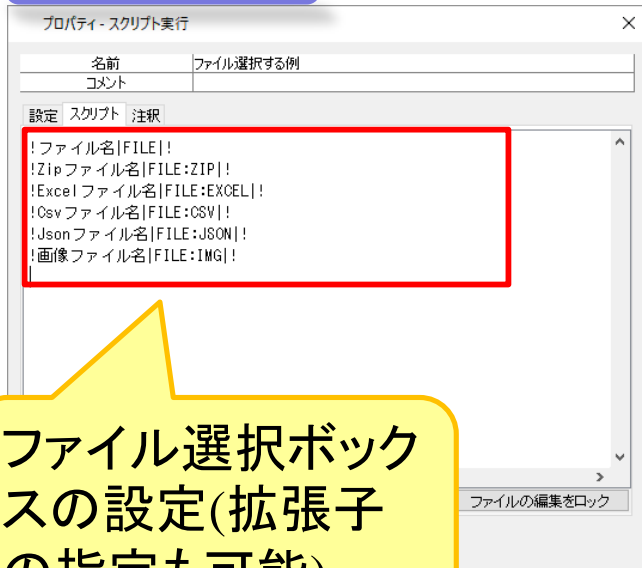
ミーティング依頼.txt

シナリオと同じフォルダのファイルは ファイル名のみを入力  
シナリオと異なるフォルダのファイルは フルパスを入力

# 機能改善: スクリプト実行アクション ファイル選択機能

スクリプト実行アクションの設定タブよりファイル選択ボックスが表示できるようになりました。

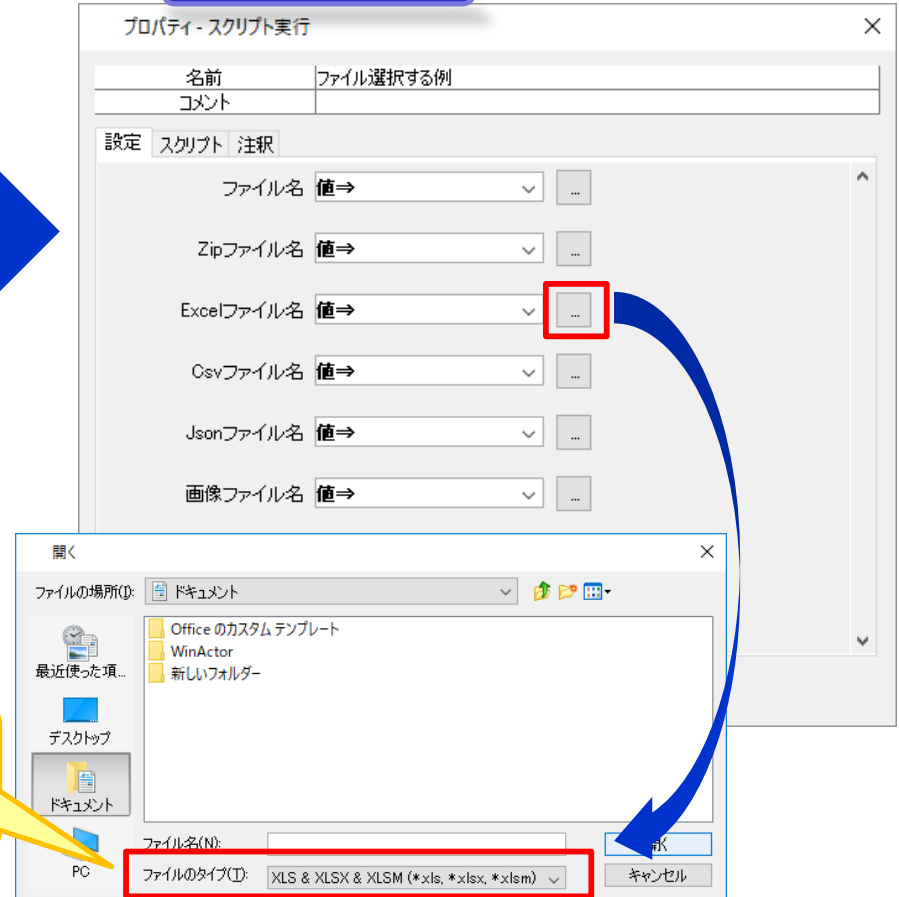
## スクリプトタブ



ファイル選択ボックスの設定(拡張子の指定も可能)

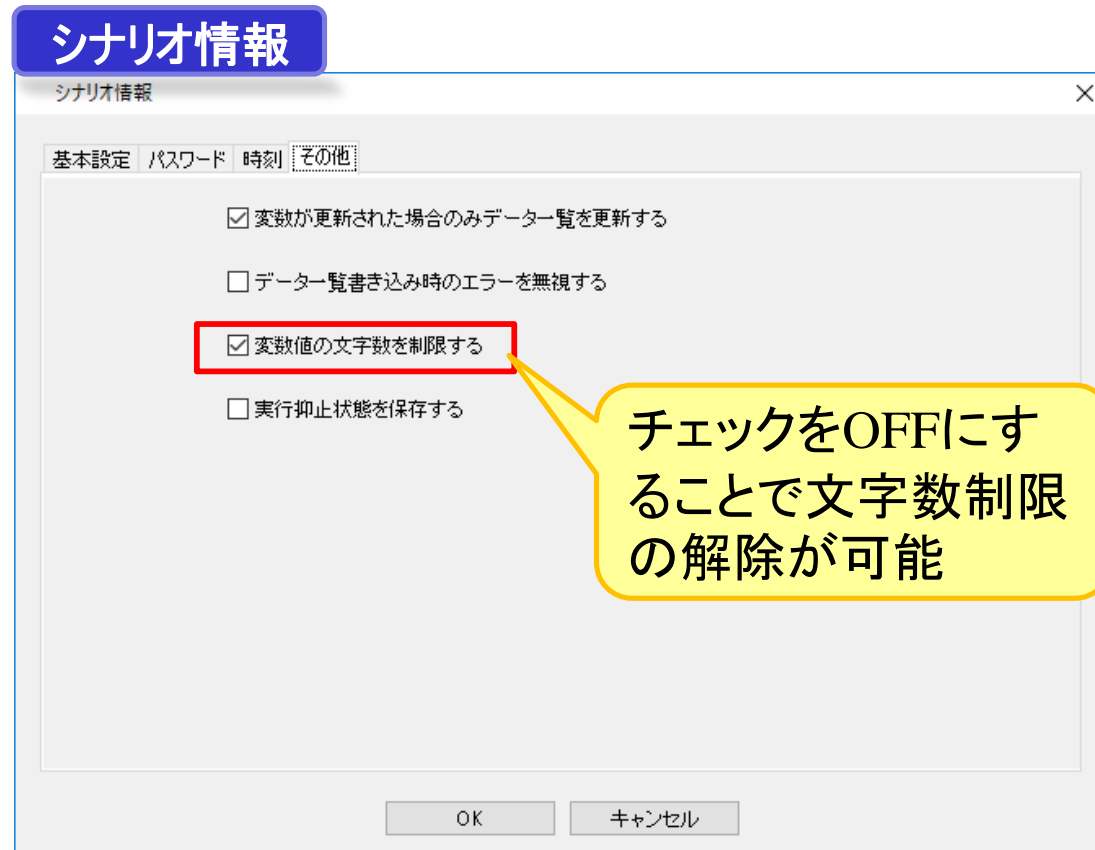
指定した拡張子のみファイル選択可能

## 設定タブ



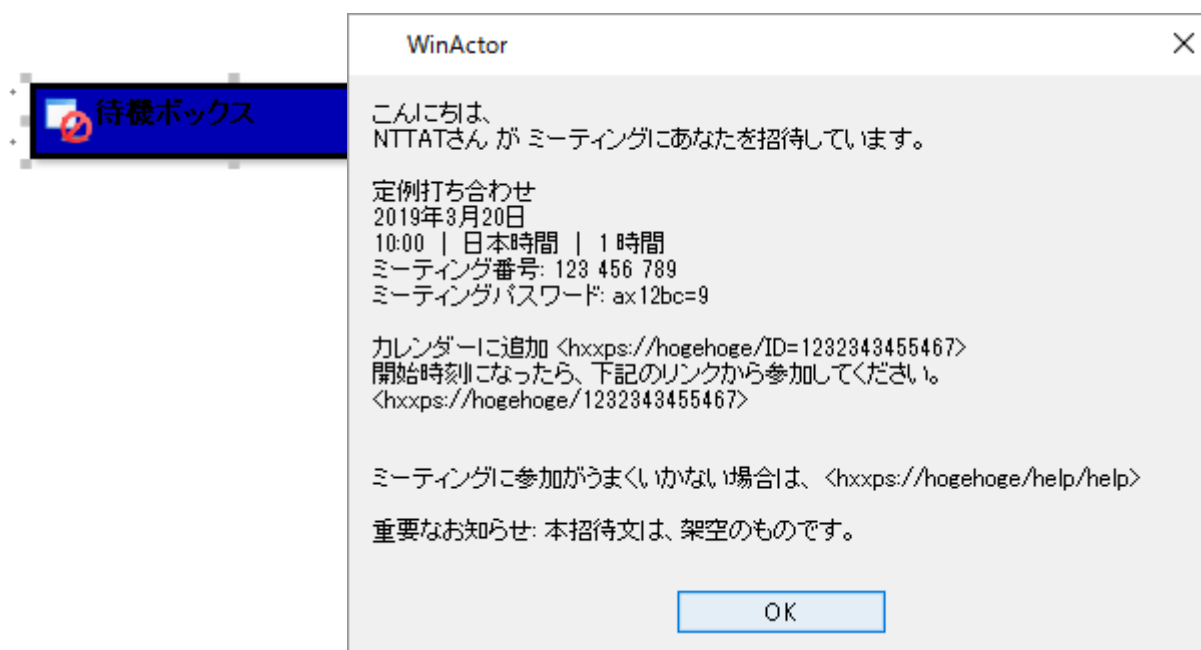
# 機能改善: 変数の文字数制限(1024文字)解除設定

変数の文字数制限(1024文字)を解除することが可能になりました。  
※デフォルトは制限がされた状態となります。



# 機能改善: メッセージボックス文字数制限緩和

待機ボックス・インプットボックス・選択ボックスで設定できるメッセージの最大文字数を255文字から1024文字に増やしました。



# 機能改善: Javaアプレット操作

JavaのSwingパッケージクラスで実装されたJavaアプレット上の要素を操作できるようになりました。

※AWTパッケージのクラスで実装された要素に対する操作はできません。

# 機能改善：サブルーチンの引数と戻り値

サブルーチンで使用する「引数」と「戻り値」に空文字を受け渡すことが可能となりました。

※v5系までは空文字は受け渡せませんでした。

※v5系以前のシナリオファイルは、下記のチェックボックスは「OFF」として動作いたします。

プロパティ - サブルーチングループ

名前	サブルーチングループ
コメント	

ローカル変数の設定(終了時に開始時の値を復元する変数)

変数1  
変数2  
変数3

追加する変数  
変数名を選択

追加 削除

☒ 空文字の引数と戻り値を受け渡す

OK キャンセル

空文字を受け渡すか選択する

# 機能改善: プロキシサーバ設定

外部サーバ接続時に利用するプロキシサーバの設定に、「ブラウザ(IE)の設定」と「OS(WinHTTP)の設定」を指定することが可能になりました。

サーバ接続設定

管理サーバ プロキシサーバ

☒ プロキシサーバを利用する

プロキシサーバの設定方法を選択してください。

☒ ブラウザ(IE)の設定を使用   ☐ OS(WinHTTP)の設定を使用   ☐ 手動で設定

ホスト

ポート

☐ 認証が必要

ユーザ名

パスワード

OK

3つから選択が可能

# 機能改善：日付形式、タイムゾーン指定1

WinActorの画面表示で使用する「日付形式」と「タイムゾーン」をオプション画面で指定できるようになりました。

The screenshot shows the 'オプション' (Options) dialog box with the '時刻' (Time) tab selected. The '日付形式(全体)' (Date format (all)) dropdown is set to 'yyyy/mm/dd'. The '日付形式(ログ)' (Date format (log)) dropdown is set to 'yyyy-mm-dd'. The 'タイムゾーン' (Time zone) dropdown is set to 'OSデフォルト' (OS default). A red arrow points from the '日付形式(全体)' dropdown to a list of date formats: 'yyyy-MM-dd', 'yyyy/MM/dd', 'dd.MM.yyyy', 'dd/MM/yyyy', 'dd-MM-yy', 'dd/MM/yy', and 'MM-dd-yy'. A blue arrow points from the 'タイムゾーン' dropdown to a list of time zones: 'OSデフォルト', 'UTC-12:00 Etc/GMT+12', 'UTC-12:00 Kwajalein', 'UTC-12:00 Pacific/Enderbury', 'UTC-12:00 Pacific/Kwajalein', 'UTC-11:30 Pacific/Niue', 'UTC-11:00 America/Adak', and 'UTC-11:00 America/Atka'. A yellow callout bubble points to the date format list with the text 'プルダウンで日付形式を選択' (Select date format with dropdown). Another yellow callout bubble points to the time zone list with the text 'プルダウンでタイムゾーンを選択' (Select time zone with dropdown). The dialog box also includes a 'タイムゾーンを絞り込む' (Filter time zone) button and a message: 'この端末のOSデフォルトのタイムゾーンは UTC+09:00 Asia/Tokyo です。' (The default time zone of this terminal is UTC+09:00 Asia/Tokyo). The 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom.

オプション

実行 記録 編集 時刻 その他

日付形式(全体) yyyy/mm/dd

日付形式(ログ) yyyy-mm-dd

タイムゾーン OSデフォルト

タイムゾーンを絞り込む

この端末のOSデフォルトのタイムゾーンは UTC+09:00 Asia/Tokyo です。

OK キャンセル

プルダウンで日付形式を選択

プルダウンでタイムゾーンを選択

# 機能改善：日付形式、タイムゾーン指定2

変数の中で取り扱われる時刻の「日付形式」と「タイムゾーン」をシナリオ情報画面で指定できるようになりました。

The screenshot shows the 'シナリオ情報' (Scenario Information) dialog box with the '時刻' (Time) tab selected. The '日付形式' (Date Format) dropdown is set to 'yyyy/mm/dd' and the 'タイムゾーン' (Time Zone) dropdown is set to 'OSデフォルト' (OS Default). A red arrow points from the '日付形式' dropdown to a list of available date formats: yyyy-MM-dd, yyyy/MM/dd, dd.MM.yyyy, dd/MM/yyyy, dd-MM-yy, dd/MM/yy, and MM-dd-yy. A blue arrow points from the 'タイムゾーン' dropdown to a list of available time zones: OSデフォルト, UTC-12:00 Etc/GMT+12, UTC-12:00 Kwajalein, UTC-12:00 Pacific/Enderbury, UTC-12:00 Pacific/Kwajalein, UTC-11:30 Pacific/Niue, UTC-11:00 America/Adak, and UTC-11:00 America/Atka. A yellow callout box on the right says 'プルダウンで日付形式を選択' (Select date format with dropdown). A yellow callout box at the bottom left says 'プルダウンでタイムゾーンを選択' (Select time zone with dropdown).

シナリオ情報

基本設定 パスワード 時刻 その他

日付形式 yyyy/mm/dd

タイムゾーン OSデフォルト

タイムゾーンを絞り込む

この端末のOSデフォルトのタイムゾーンは UTC+09:00 Asia/Tokyo です。

OK キャンセル

プルダウンで日付形式を選択

プルダウンでタイムゾーンを選択

# 動作環境: Microsoft Office 2019 対応

Microsoft Office 2019 に対応いたしました。

Microsoft Officeは、Microsoft社の商標です。

	クライアントOS	サーバOS
対応OS	Windows 7 SP1, Windows 8.1, Windows 10	Windows Server 2012 R2, Windows Server 2016,
対応ソフトウェア	Microsoft Office 2010, 2013, 2016, <b>2019</b>	Microsoft Office 2010, 2013, 2016, <b>2019</b>
対応ブラウザ	Internet Explorer 11	Internet Explorer 11

# Java実行環境の変更

---

WinActorで使用しているJavaの実行環境(JRE) を、  
OpenJDK(AmazonCorretto8.212.04.2)に変更しました。

# 不具合対応：シナリオ保存に関する改善

---

変数名に制御文字が入ったまま保存するとそのシナリオが開けない問題を修正しました。

# 不具合対応: タブ名の記録

オプション設定で「変数を自動生成する」のチェックをOFFにした状態でイベント記録時にタブ名が記録されない不具合を修正しました。



# 不具合対応:Java関連ライブラリ

---

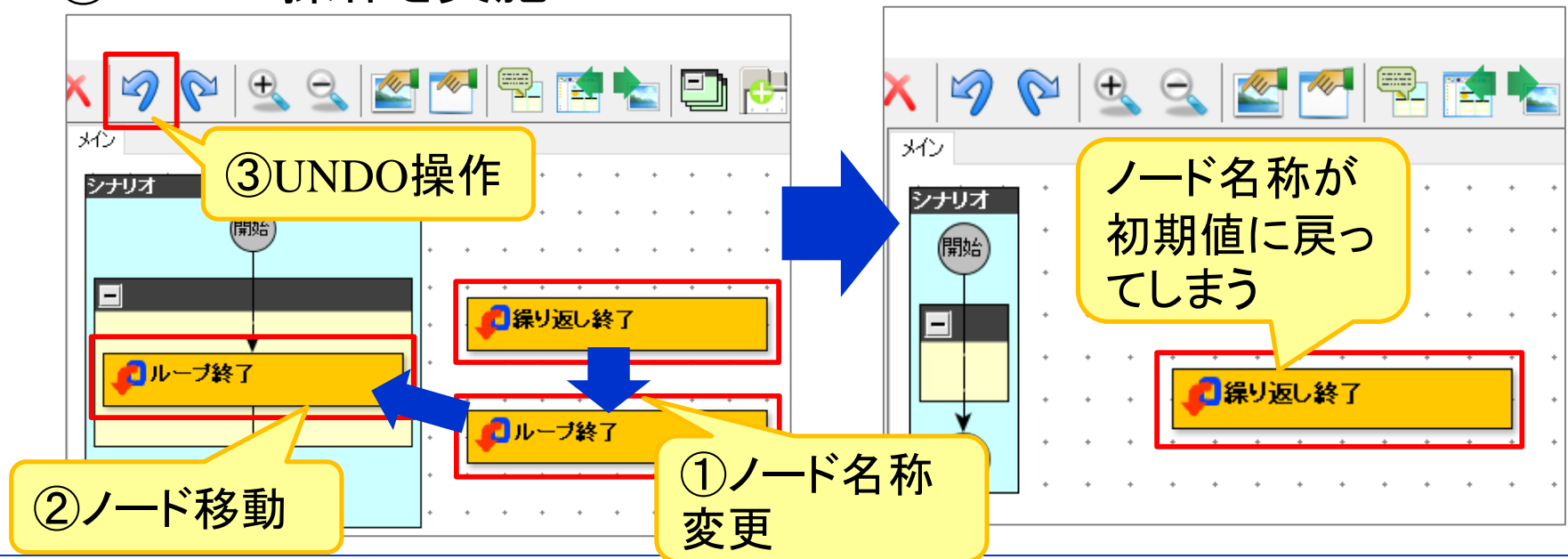
Windows7 32bit環境において、Java関連ライブラリの実行タイミングによりエラーが発生する不具合を修正しました。

# 不具合対応: UNDO時のノード名称

「繰り返し終了」・「次の条件判定」・「サブルーチン終了」ノードで、UNDO(元に戻す)した際に、更新したノード名称が初期値に戻ってしまう事象を修正しました。

(発生条件)

- ①ノード名称を変更
- ②ノードを移動
- ③UNDO操作を実施



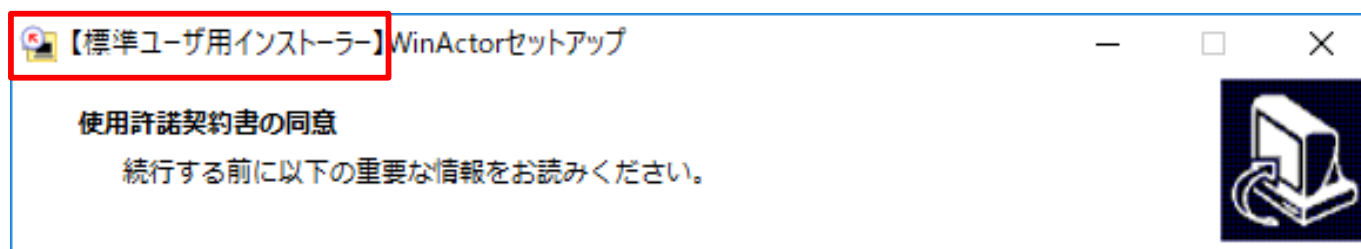
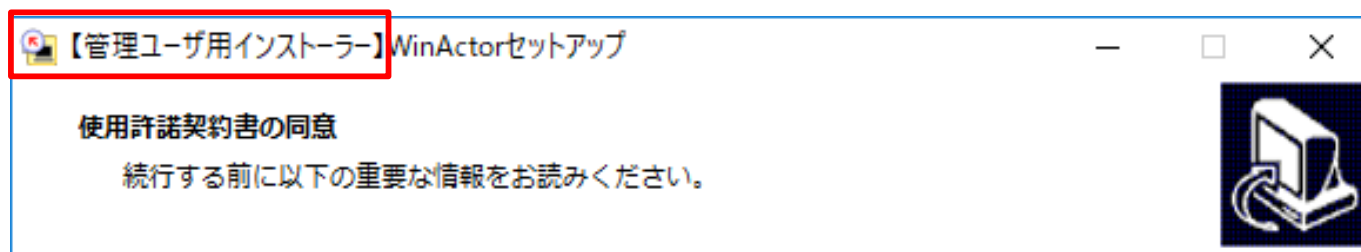
# ユーザライブラリ

---

各ライブラリの詳細な機能改善点、不具合修正点は、  
別紙『WinActor v6.0.0 ライブラリの変更点 (xlsxファイル)』を  
ご確認ください。

## その他：インストーラの改善

インストーラ起動後のタイトルに、起動したインストーラ名を表示するようにいたしました。



## その他：標準ユーザ用インストーラの改善

標準ユーザ用インストーラでインストールした際に、シナリオファイル (ums5、ums6)との関連付けが可能となりました。これにより、シナリオファイルをダブルクリックして開くことが可能となります。

## その他：標準ユーザ用インストーラの改善

---

サーバOSに対して標準ユーザ用インストーラでインストールした際に、ログインユーザ毎にライセンス管理できるようになりました。

※管理ユーザ用インストーラと同様の管理方式に統一しました。

## その他：バージョンアップ時のライセンスについて

---

WinActorノードロック版 v5系からv6へのバージョンアップ時のライセンス情報は維持されます。そのため、ライセンスの再登録は不要となります。

# その他:リリースファイル

No	ライセンス種別	ファイル種類	ファイル名	インストールについて、 注意事項
1	ノードロック版	管理者ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v600_i_expire_Y YYYYMMDD_XXdays.zip	ノードロック版は原則としてこのファイル をご利用ください。管理ユーザとは Windows OS の管理者権限が付与され たユーザとなります。
2		標準ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v600_inp_expire_ YYYYMMDD_XXdays.zip	インストールする端末に管理者実行権 限がない場合など、No1でインストール できない場合にご利用ください。
3	フローティング ライセンス版	管理者ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v600_FL_i.zip	フローティングライセンス版は原則として このファイルをご利用ください。
4		標準ユーザー用 インストーラー (兼アップデートツール)	WinActor_v600_FL_inp.zip	インストールする端末に管理者実行権 限がない場合など、No3でインストール できない場合にご利用ください。

※「Zip解凍版」については提供を終了しました。

## ★アップデートの際の注意点★

管理ユーザ用インストーラーでインストールした場合は、管理ユーザ用インストーラーでアップデートをしてください。

同様に標準ユーザ用インストーラーもしくはZIP解凍版でインストールした場合は、標準ユーザ用インストーラーでアップデートをしてください。

管理ユーザ用インストーラーでインストールした状態で標準ユーザ用インストーラーでアップデートしたり、標準ユーザ用インストーラーでインストールした状態で管理ユーザ用インストーラーでアップデートしたりしないでください。

# WinActor v6.0.0 変更点について

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2013-2019 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。  
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-F-0527